

### 第3章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

本計画の対象施設の各公共施設の施設情報と配置状況を施設類型別に示しています。建物情報は、施設の機能を満たすための代表的な建物の情報を掲載し、同様の建物が複数ある場合には建築年度が古いなど、整備が最も必要と思われる建物の情報を掲載しています。

表 施設類型別の対象施設

施設類型		建物施設数	建物延床面積
1	学校教育系施設 (三股中学校、三股小学校、給食センター等)	8 施設	3.6 万㎡
2	子育て支援施設 (児童館、長田へき地保育所等)	12 施設	0.4 万㎡
3	町民文化系施設 (中央公民館、各地区分館等)	22 施設	0.8 万㎡
4	スポーツ・レクリエーション系施設 (町体育館、勤労者体育センター等)	6 施設	0.4 万㎡
5	町営住宅、教職員住宅 (山王原団地、五本松団地等)	23 施設	4.0 万㎡
6	行政系施設 (町役場、各地区消防詰所等)	12 施設	0.6 万㎡
7	保健・福祉施設 (健康管理センター、元気の杜等)	7 施設	0.6 万㎡
8	社会教育系施設 (総合文化施設)	1 施設	0.5 万㎡
9	供給処理施設 (クリーンヒルみまた、リサイクルセンター、衛生センター)	3 施設	0.3 万㎡
10	公園 (旭ヶ丘運動公園、上米公園パークゴルフ場等)	19 施設	0.1 万㎡
11	その他 (墓苑高才原等)	9 施設	0.2 万㎡
12	道路・橋梁	-	-
13	下水道	3 施設	0.2 万㎡
合計		125 施設	11.7 万㎡

## 利用状況について

施設の利用状況や稼働状況について、用途分類ごとに比較指標を設定し、同一用途の施設間で比較しました。用途に応じて、在籍者数（児童、生徒数）や利用者数、入居戸数の推移に加えて、入園率や入居率等による稼働率の比較を表示しています。

**表 利用状況の項目について**

用途分類	説明
学校教育系施設 (中学校、小学校等)	「児童・生徒数の推移（過去3年間）」による比較及び「児童・生徒一人当たりの校舎面積」による比較
子育て支援施設 (児童館等)	「過去3年間の園児（児童）数の推移」の比較及び「定員に対する園児数の割合」を入園（所）率として比較
町民文化系施設、 スポーツ・レクリエーション系施設	「過去3年間の施設利用者数の推移」による比較
町営住宅	「過去3年間の入居戸数の推移」の比較及び「提供戸数に対する入居戸数の割合」を入居率として比較

## 第1節 公共施設等

### (1) 学校教育系施設

#### ■施設概要

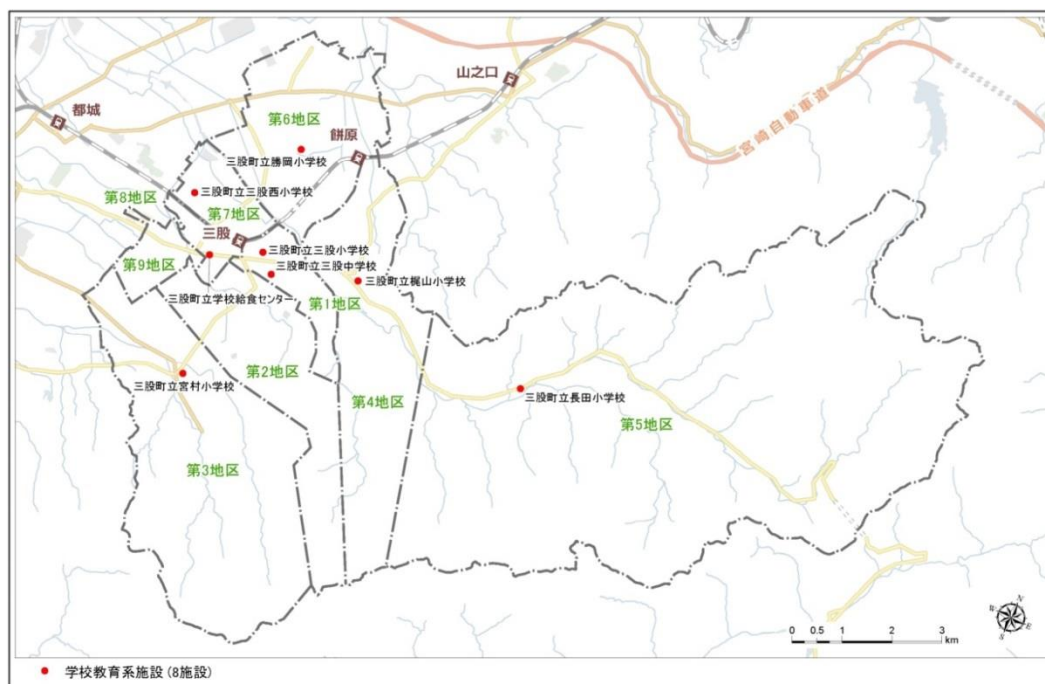
- ・学校教育施設は、小学校が6施設、中学校が1施設、給食センターが1施設設置されています。延べ床面積は36,431㎡であり、町が保有する公共施設（建物）延べ床面積全体の31.1%を占めています。
- ・小学校・中学校は義務教育の拠点として児童・生徒が1日の大半を過ごす場となっています。
- ・上記のほか、災害時等の避難所としての防災機能、学校開放による体育施設の一般開放等、多様なサービスを提供する地域の拠点施設となっています。
- ・配置状況をみると、各地区にまんべんなく配置されている施設であります。

表 学校教育系施設の一覧

施設情報					建物情報(代表建物)			
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
三股町立三股小学校	教育課	第1地区	6,485㎡	無	1959年度	56年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
三股町立三股中学校	教育課	第1地区	11,333㎡	無	1968年度	47年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
三股町立宮村小学校	教育課	第3地区	2,392㎡	無	1981年度	34年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
三股町立梶山小学校	教育課	第4地区	2,222㎡	無	1979年度	36年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
三股町立長田小学校	教育課	第5地区	2,298㎡	無	1983年度	32年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
三股町立勝岡小学校	教育課	第6地区	3,596㎡	無	1981年度	34年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
三股町立三股西小学校	教育課	第7地区	6,718㎡	無	1988年度	27年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
三股町立学校給食センター	教育課	第8地区	1,387㎡	無	1991年度	24年	鉄骨造	新耐震基準

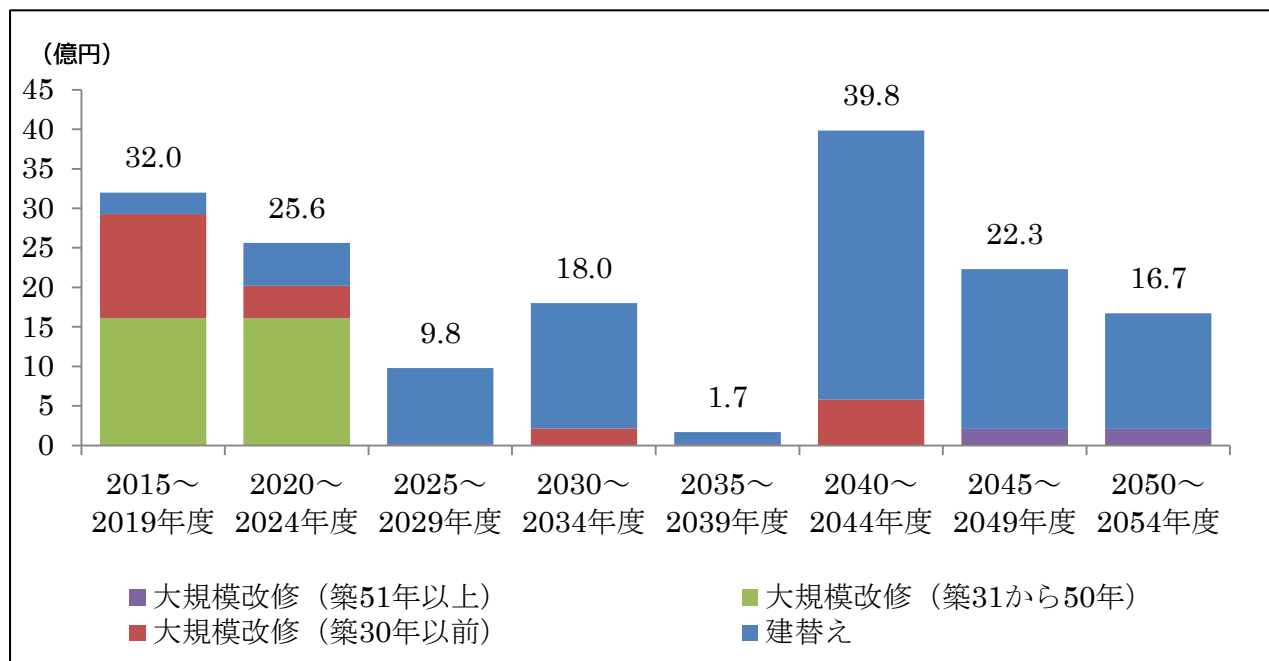
※建設時の耐震基準を表示しています。

#### ■配置状況



## ■将来更新費用

図 学校教育系施設 将来更新費用

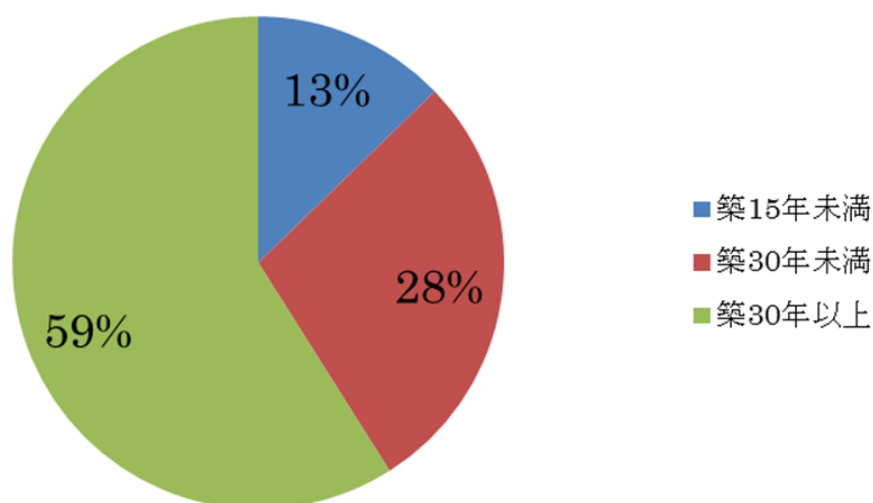


将来更新費用は、2019年度までの5年間に大規模改修費用として、約32億円が必要となる見込みです。その後も、大きな費用が発生する見込みとなっています。特に2040年度から2044年度までは、建替えと大規模改修費用が約40億円となる見込みとなっています。

## ■施設老朽化状況

学校教育施設の築後年数の割合をみると、大規模改修の目安となる築30年以上経過している建物が約59%となっています。

図 築年別の施設数



## ■利用状況

児童・生徒数の推移を学校ごとに比較すると、小学校では三股西小学校の児童数が730人～750人程度を推移している一方、梶山小学校、長田小学校では児童数が100人を切る状況となっています。

なお地区別の将来人口見通し(8ページ)では、第4地区と第5地区の人口減少が著しいと予測されます。両地区に所在する梶山小学校、長田小学校は今後さらなる児童数減少が予想されます。また第7地区では人口増加が予想され、同地区に所在する三股西小学校の児童数増加の傾向は継続するものと考えられます。

表 児童・生徒数の推移(過去3年間)

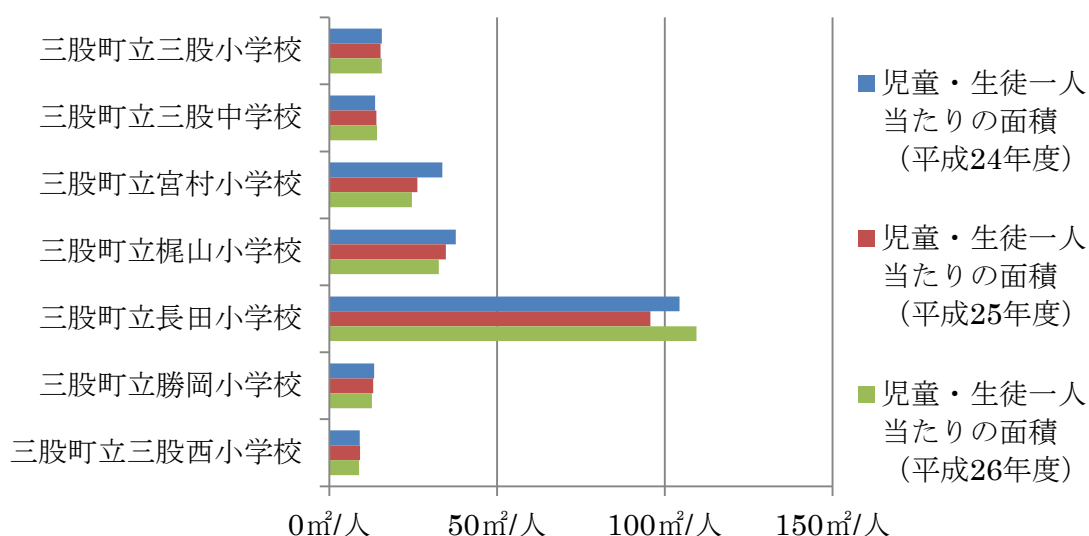
施設名称	児童生徒数(平成24年度)	児童生徒数(平成25年度)	児童生徒数(平成26年度)
三股町立三股小学校	415人	424人	414人
三股町立三股中学校	830人	806人	794人
三股町立宮村小学校	71人	91人	97人
三股町立梶山小学校	59人	64人	68人
三股町立長田小学校	22人	24人	21人
三股町立勝岡小学校	268人	275人	283人
三股町立三股西小学校	743人	734人	752人

出典元；平成24年度から平成26年度までの児童・生徒数及び学級数調(三股町教育委員会)

また、児童・生徒一人当たりの校舎面積( $m^2$ /人)を学校ごとに比較すると、一人当たりの校舎面積が最も大きい長田小学校で $103.2 m^2$ /人と、最も小さい三股西小学校の $9 m^2$ /人と比較して11倍程度の差が生じています

上記のことから長田小学校では今後スペースに余裕が生じることが予想されます。また三股西小学校ではスペースに余裕を持たせる等の措置を取る必要性があります。

図 児童・生徒一人当たりの校舎面積(過去3年間)



出典元；平成24年度から平成26年度までの児童・生徒数及び学級数調(三股町教育委員会)から算出

## ■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校が6校、中学校が1校設置されております。</li> <li>・築30年以上を経過した建物が約59%を占めており、老朽化している施設が多く存在します。</li> <li>⇒大規模改修が今後必要となります。</li> <li>・学校給食センターは1991年度に建設されており、耐震性は確保されています。</li> <li>⇒今後は設備の更新及び維持管理が必要となります。</li> <li>・長田小学校の児童1人当たりの面積が広い状況です。</li> <li>⇒空きスペースなどの有効利用を検討する必要があります。</li> <li>・梶山小学校、長田小学校では児童数が100人を切る状況となっております。</li> <li>⇒少子高齢化が進行し児童数が減少傾向であり、適正化を図ります。</li> </ul>
----------	--

## ■管理に関する基本的な方針

学校施設	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・町民や利用者（児童・生徒等も含む）及び職員目線で見つかった施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎及び体育館等については耐震化がされています。</li> <li>・耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三股小学校、宮村小学校、長田小学校、梶山小学校、勝岡小学校等の今後大規模改修の時期を迎える施設は、長寿命化に貢献する改修を併せて実施し、ライフサイクルコストの削減を図ります。</li> <li>・三股中学校、三股西小学校は定期的な点検や修繕を行うことにより長期間施設を利用できるようにします。</li> <li>・学校施設の長寿命化計画を策定します。</li> </ul>

統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設については、「学校施設と他の公共施設等との複合化検討部会」（文部科学省）による複合化の推進の考え方を参考にしつつ、地域の拠点施設として位置付け、空きスペース（空き教室等）や学校開放の活用による周辺施設との複合化や児童館等の機能を学校に集約化していくことを検討します。</li> </ul>
-----------------	--

給食センター	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・職員目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより施設を長期間利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の用途の施設との統廃合は検討しません。</li> </ul>

## (2) 子育て支援施設

### ■施設概要

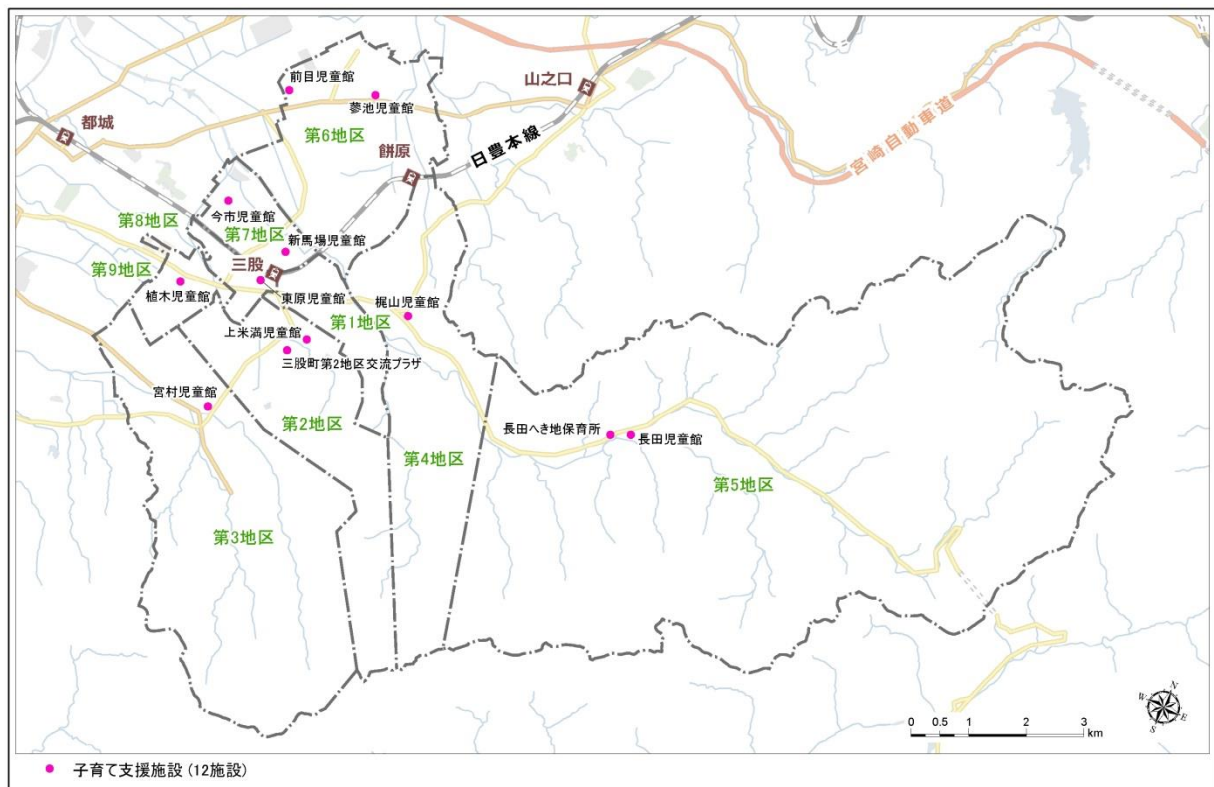
- ・児童館は、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、授業終了後の適切な遊び場および生活の場を提供しています。
- ・保育所は、保護者の就労や病気等の理由で、家庭での保育が困難な0歳から6歳児を対象に保育を行う施設です。

表 子育て支援施設の一覧

施設情報				建物情報(代表建物)				
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
上米満児童館	福祉課	第2地区	193㎡	無	1981年度	34年	木造	旧耐震基準
三股町第2地区交流プラザ	福祉課	第2地区	1,227㎡	無	2000年度	15年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
宮村児童館	福祉課	第3地区	193㎡	無	1979年度	36年	木造	旧耐震基準
梶山児童館	福祉課	第4地区	364㎡	無	1966年度	49年	鉄骨	旧耐震基準
長田児童館	福祉課	第5地区	266㎡	無	1967年度	48年	鉄骨	旧耐震基準
長田へき地保育所	福祉課	第5地区	209㎡	無	1978年度	37年	木造	旧耐震基準
前目児童館	福祉課	第6地区	193㎡	無	1977年度	38年	木造	旧耐震基準
蓼池児童館	福祉課	第6地区	290㎡	無	1974年度	41年	木造	旧耐震基準
今市児童館	福祉課	第7地区	193㎡	無	1976年度	39年	木造	旧耐震基準
新馬場児童館	福祉課	第7地区	193㎡	無	1973年度	42年	木造	旧耐震基準
東原児童館	福祉課	第8地区	193㎡	無	1975年度	40年	木造	旧耐震基準
植木児童館	福祉課	第9地区	182㎡	無	1966年度	49年	鉄骨	旧耐震基準

※建設時の耐震基準を表示しています。

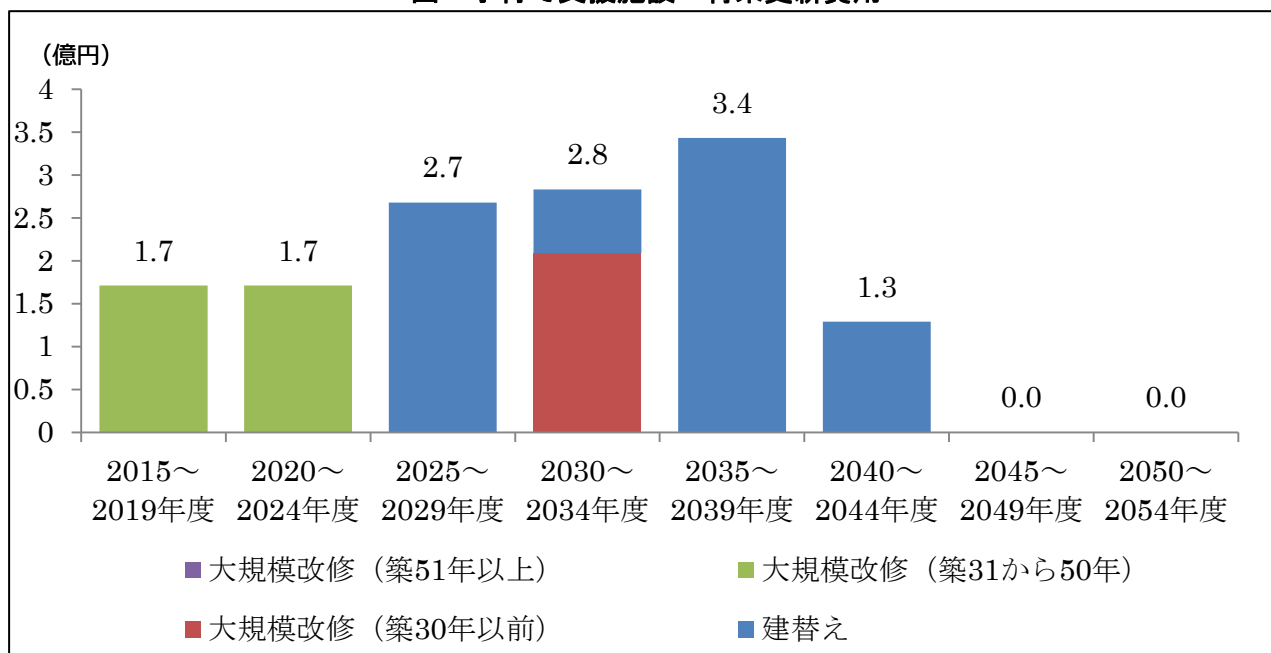
### ■配置状況





## ■将来更新費用

図 子育て支援施設 将来更新費用

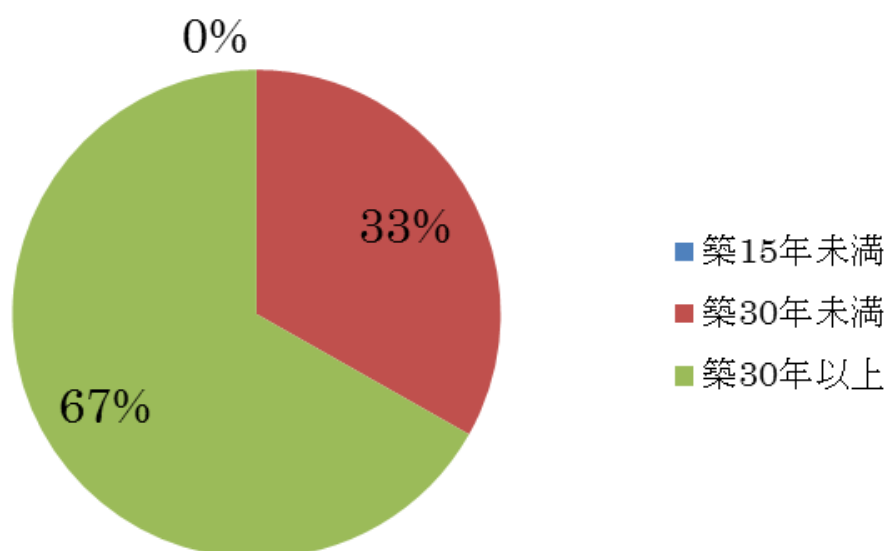


将来更新費用は、2044年度までの30年間に建替え及び大規模改修費用として、約14億円が必要となる見込みです。

## ■施設老朽化状況

子育て支援施設の築後年数の割合をみると、建物の約67%が築30年以上経過しています。

図 築年別の施設数



## ■利用状況

児童館及び第2地区交流プラザについて利用者数の推移を施設ごとに比較すると、今市児童館、植木児童館では利用者が特に多い状況となっています。

なお地区別の将来人口見通し(8ページ)では、第7地区と第9地区の人口増加が予測されます。両地区に所在する今市児童館、植木児童館、新馬場児童館は今後さらなる利用者数増加が予想されます。

表 利用者数の推移（過去3年間）

施設名称	利用者数(平成24年度)	利用者数(平成25年度)	利用者数(平成26年度)
上米満児童館	9,858人	8,437人	8,762人
三股町第2地区交流プラザ	9,343人	7,772人	8,682人
宮村児童館	8,635人	12,388人	12,998人
梶山児童館	11,566人	12,344人	14,268人
長田児童館	3,803人	4,555人	4,983人
前目児童館	6,160人	11,645人	12,705人
蓼池児童館	17,844人	13,327人	13,935人
今市児童館	27,829人	24,456人	21,728人
新馬場児童館	7,903人	6,256人	6,465人
東原児童館	7,592人	10,383人	7,966人
植木児童館	21,133人	16,838人	15,745人

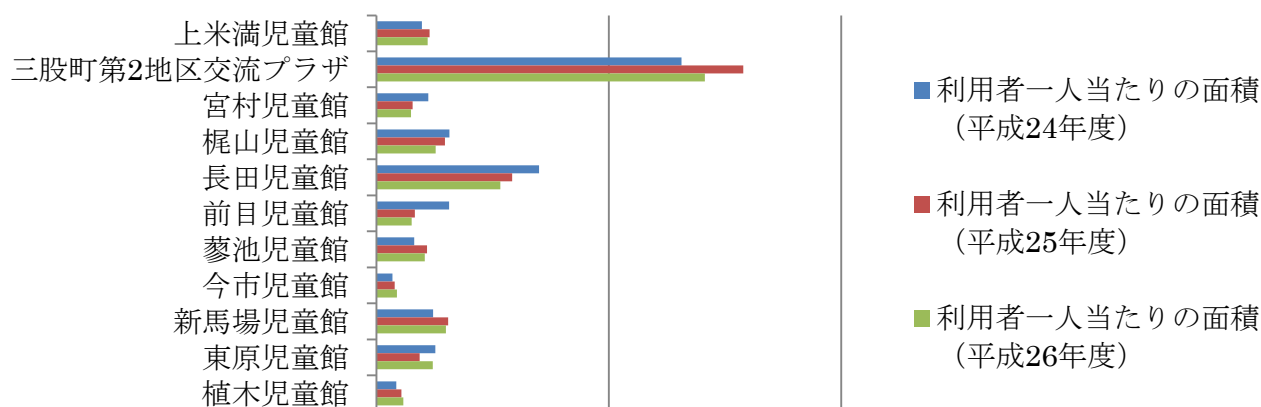
出典元；児童館等利用状況 H24～26 集計(福祉課)

また、利用者一人当たりの延床面積を施設ごとに比較すると、最も大きい第2地区交流プラザで約0.15㎡/人となっており、次いで長田児童館で約0.05㎡/人となっています。

なお今市児童館、植木児童館は1人当たりの延床面積は0.1㎡/人未満であり、他の施設と比較しスペースに余裕がない状況です。

利用者数の増加が見込まれる今市児童館や植木児童館は今後空きスペースに余裕がなくなることが予想されます。

図 利用者一人当たりの延床面積（過去3年間）



出典元；児童館等利用状況 H24～26 集計(福祉課)を基に算出

※第2地区交流プラザはアリーナ部分を含む延べ床面積で算出しています。

## ■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館が10か所、第2地区交流プラザは1カ所、保育所が1カ所設置されております。</li> <li>・築30年以上を経過した建物が約67%を占めており、老朽化している施設が多く存在します。</li> <li>⇒大規模改修が今後必要であります。</li> <li>・児童館は全て旧耐震基準となっています。</li> <li>・第2地区交流プラザの利用者1人当たりの面積が広い状況です。</li> <li>⇒空きスペースなどの有効利用を検討します。</li> <li>・今市児童館、植木児童館では利用者数が多い状況となっています。</li> <li>⇒第7、8、9地区では児童数が増加傾向であることや、共働き世帯の増加が想定されることから、利用者数の増加が想定されます。</li> <li>・長田へき地保育所は土砂災害警戒区域内に立地しております。</li> </ul>
----------	---

## ■管理に関する基本的な方針

児童館、第2地区交流プラザ	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・町民や職員目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> <li>・児童館は状況に応じて施設毎の建替え及び修繕計画を策定することを検討します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> <li>・児童館については、施設の老朽化がかなり進んでいるため、統廃合や複合化を含めた修繕計画を早期に策定し、実施します。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館は、安全性を加味した効果的な改修の実施を検討します。</li> <li>・第2地区交流プラザは定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館については全て旧耐震基準で建設されており、既存施設の耐震化だけでなく、統廃合や複合化、更新を含む耐震化についても検討します。</li> <li>・第2地区交流プラザは、耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続してきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館については、既存施設の長寿命化だけでなく、統廃合や複合化、更新を含む長寿命化についても検討します。</li> <li>・第2地区交流プラザは定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>

統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館については、「学校施設と他の公共施設等との複合化検討部会」(文部科学省) による複合化の推進の考え方を参考にしつつ、学校の空きスペース(空き教室等)へ統廃合をすることも検討します。</li> <li>・第2地区交流プラザは多機能化について検討します。</li> </ul>
-----------------	---

長田へき地保育所	
点検・診断等の実施方針について	・必要に応じて、個別の調査・診断等を実施していきます。
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	・必要に応じて、修繕等を実施していきます。
安全確保の実施方針について	・必要に応じて、安全確保の措置を取ります。
耐震化の実施方針について	・実施しません。
長寿命化の実施方針について	・実施しません。
統合及び廃止の推進方針について	・貸付や売却等行い有効活用できるように検討し、維持管理コストの軽減を図ります。

### (3) 町民文化系施設

#### ■施設概要

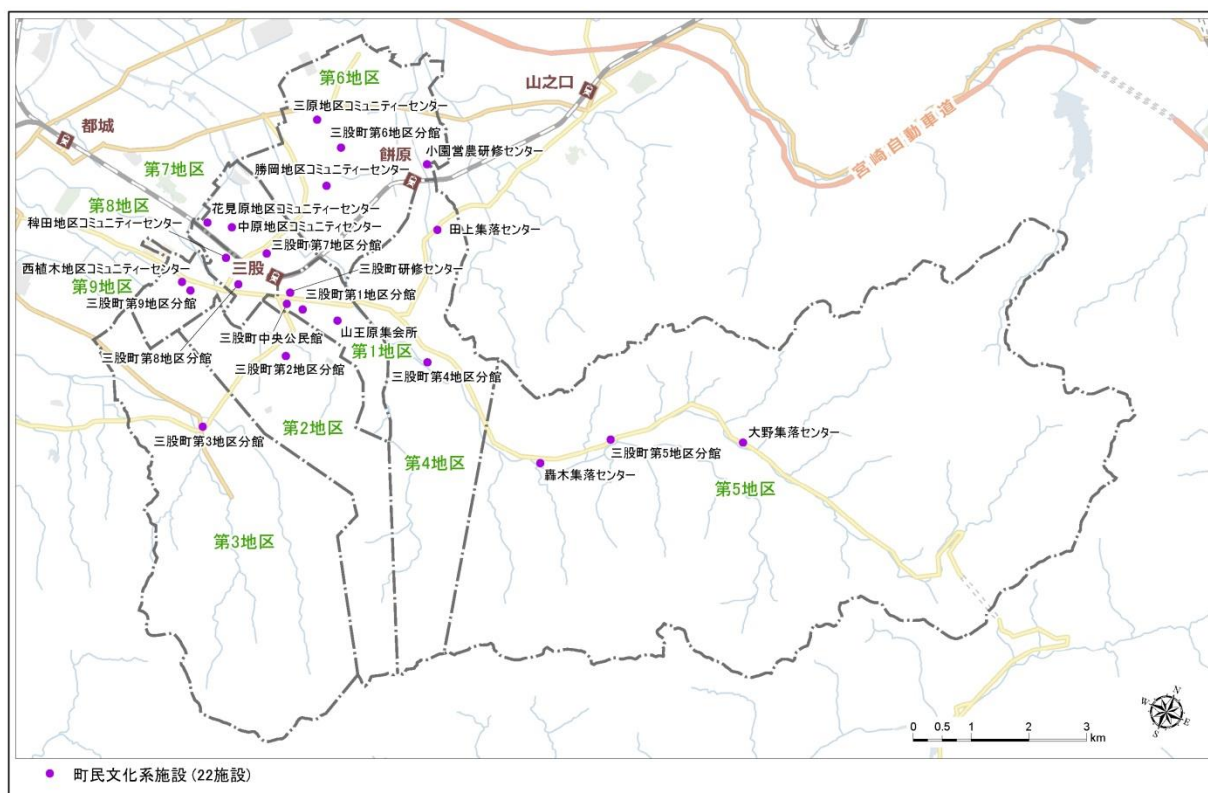
- ・地域住民が相互の交流を深め、自主的に活動することのできる場として集会機能や貸室機能を担っております。また、災害時等の避難所としての機能を担っています。
- ・地区のまちづくり活動の拠点としての機能を担うとともに、地域の身近な行政窓口として町役場と地域住民をつなぐパイプ的な役割も果たしています。

表 町民文化系施設の一覧

施設情報					建物情報(代表建物)			
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
三股町研修センター	教育課	第1地区	196㎡	無	1988年度	27年	木造	新耐震基準
山王原集会所	教育課	第1地区	70㎡	無	1982年度	33年	鉄骨	新耐震基準
三股町中央公民館	教育課	第1地区	1,482㎡	無	1973年度	42年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
三股町第1地区分館	教育課	第1地区	563㎡	無	1987年度	28年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
三股町第2地区分館	教育課	第2地区	503㎡	無	1976年度	39年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
三股町第3地区分館	教育課	第3地区	422㎡	無	1993年度	22年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
三股町第4地区分館	教育課	第4地区	337㎡	無	1980年度	35年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
田上集落センター	産業振興課	第4地区	158㎡	無	1985年度	30年	木造	新耐震基準
三股町第5地区分館	教育課	第5地区	337㎡	無	1978年度	37年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
大野集落センター	産業振興課	第5地区	173㎡	無	1982年度	33年	木造	新耐震基準
轟木集落センター	産業振興課	第5地区	240㎡	無	1982年度	33年	木造	新耐震基準
三原地区コミュニティセンター	教育課	第6地区	177㎡	無	1981年度	34年	木造	旧耐震基準
勝岡地区コミュニティセンター	教育課	第6地区	91㎡	無	1998年度	17年	木造	新耐震基準
三股町第6地区分館	教育課	第6地区	1,141㎡	無	1995年度	20年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
小園営農研修センター	産業振興課	第6地区	75㎡	無	1983年度	32年	木造	新耐震基準
花見原地区コミュニティセンター	教育課	第7地区	206㎡	無	1994年度	21年	木造	新耐震基準
三股町第7地区分館	教育課	第7地区	542㎡	無	1994年度	21年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
中原地区コミュニティセンター	教育課	第7地区	209㎡	無	1995年度	20年	木造	新耐震基準
三股町第8地区分館	教育課	第8地区	454㎡	無	1984年度	31年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
稗田地区コミュニティセンター	教育課	第8地区	206㎡	無	1993年度	22年	木造	新耐震基準
西植木地区コミュニティセンター	教育課	第9地区	291㎡	無	2000年度	15年	木造	新耐震基準
三股町第9地区分館	教育課	第9地区	494㎡	無	1985年度	30年	鉄筋コンクリート	新耐震基準

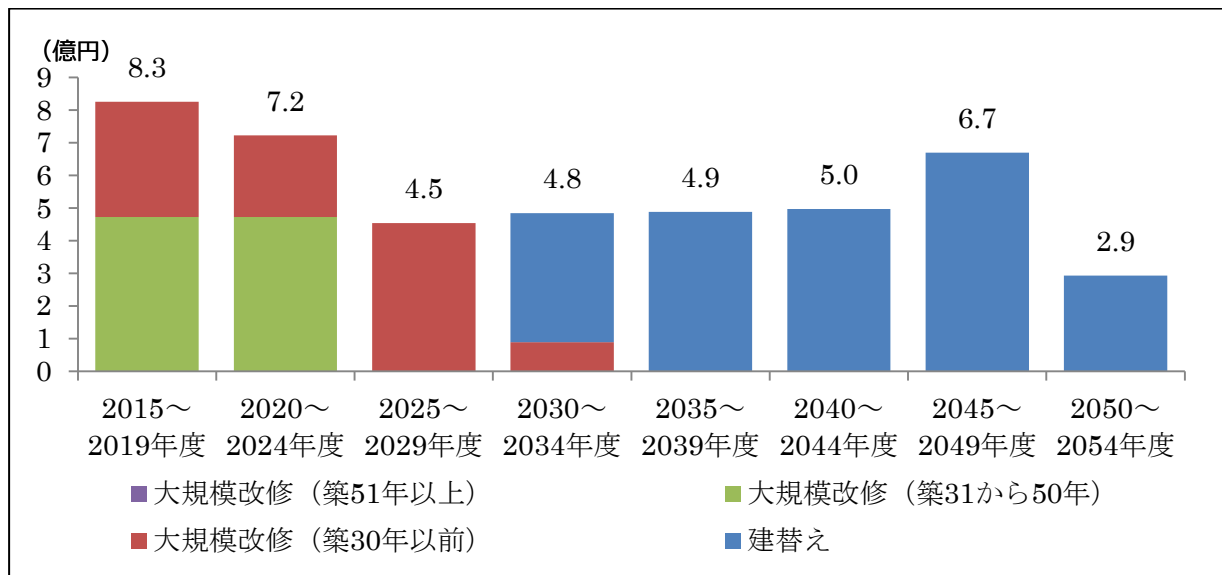
※建設時の耐震基準を表示しています。

## ■配置状況



## ■将来更新費用

図 町民文化系施設 将来更新費用

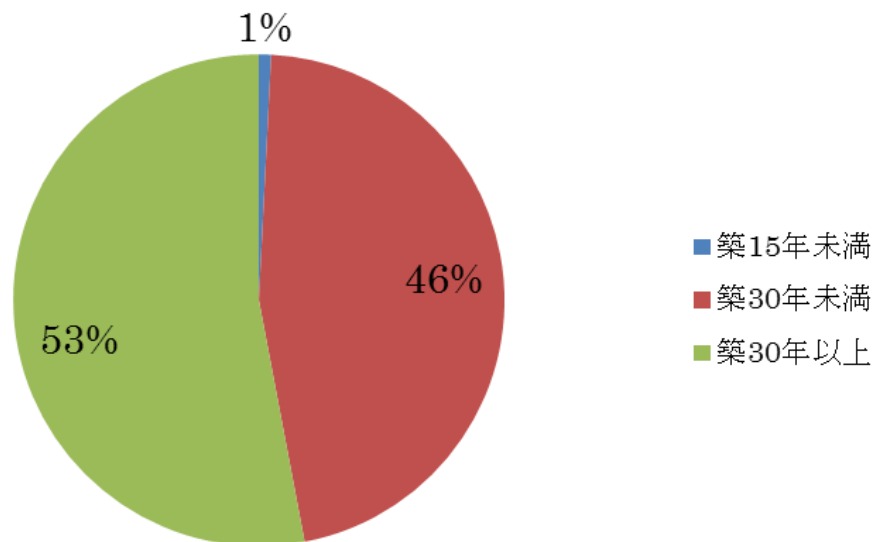


将来更新費用は、2029年度まで主に大規模改修費用が約20億円必要となる見込みとなっており、2030年度以降は建替えが主となる見込まれています。

## ■施設老朽化状況

町民文化系施設の築後年数の割合をみると、大規模改修の目安となる築30年以上経過している建物が約53%となっています。

図 築年別の施設数



## ■利用状況

中央公民館及び各地区分館について利用者数の推移を施設ごとに比較すると、中央公民館、第1地区分館、第6地区分館が特に多い状況となっています。

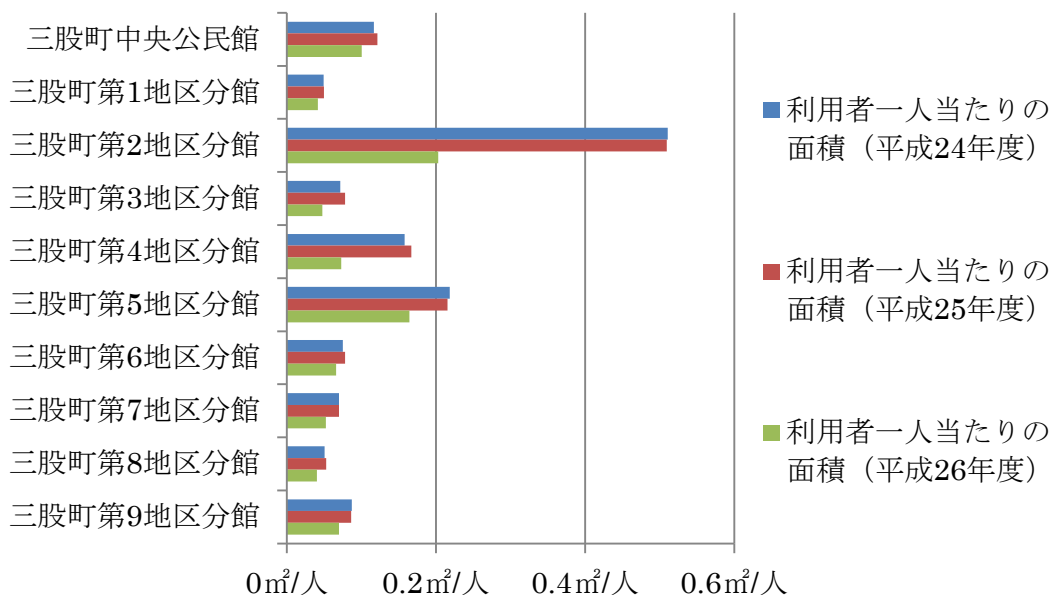
表 中央公民館及び各地区分館の推移（過去3年間）

施設名称	利用者数(平成24年度)	利用者数(平成25年度)	利用者数(平成26年度)
三股町中央公民館	12,720人	12,216人	14,751人
三股町第1地区分館	11,436人	11,311人	13,626人
三股町第2地区分館	985人	988人	2,481人
三股町第3地区分館	5,909人	5,412人	8,865人
三股町第4地区分館	2,134人	2,019人	4,632人
三股町第5地区分館	1,543人	1,564人	2,053人
三股町第6地区分館	15,230人	14,600人	17,283人
三股町第7地区分館	7,765人	7,776人	10,400人
三股町第8地区分館	8,975人	8,603人	11,269人
三股町第9地区分館	5,681人	5,727人	7,075人

出典元；月別・施設概況調査表(利用者) 教育委員会

また、中央公民館及び各地区分館における利用者一人当たりの延床面積（㎡/人）を施設ごとに比較すると、一人当たりの延床面積が最も大きい第2地区分館で平成24年度と平成25年度は0.5㎡/人と、他の施設と比較し大きくなっています。

図 中央公民館及び各地区分館利用者一人当たりの延床面積（過去3年間）



出典元；月別・施設概況調査表(利用者数) 教育委員会 を基に算出

■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館及び地区分館は10カ所、集落センターは3カ所、コミュニティセンターは6カ所、集会所は1カ所、研修センターは2カ所設置されております。</li> <li>・築30年以上を経過した建物が約53%を占めており、老朽化している施設が多く存在します。</li> <li>⇒大規模改修が今後必要</li> <li>・公民館及び分館では第2地区分館が利用者1人当たりの面積が広い状況です。</li> <li>⇒空きスペースなどの有効利用を検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館、第1地区分館、第6地区分館では利用者数が多い状況となっています。</li> <li>・第5地区分館は土砂災害警戒区域内に立地しております。</li> </ul> </li> </ul>
----------	--



## ■管理に関する基本的な方針

公民館、地区分館	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・町民や職員目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性の確保を維持しつつ今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区分館については、教育・福祉・保健等と連携した複合的施設としての利用促進や他機能との一元化を図るとともに、施設の劣化・損傷が激しく建替えが必要な場合は、近隣の公共施設等に機能を移し一元化することも検討します。</li> </ul>

三股町研修センター、コミュニティセンター、集会所	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・職員目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性能が低い施設については耐震性の確保に努めます。</li> <li>・耐震性の確保を維持しつつ今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>

統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区への譲渡や管理運営の移管を検討します。</li> <li>・研修センター、コミュニティセンター、集会所については、劣化・損傷が激しく建替えが必要な場合は、近隣の公共施設等への機能一元化や、教育・福祉・保健等と連携した複合的施設の建設を検討します。</li> </ul>
集落センター、小園営農研修センター	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・職員目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全性を加味した効果的な改修の実施を検討します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性の確保を維持しつつ今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区への譲渡や管理運営の移管を検討します。</li> <li>・公民館や分館等との複合化、多機能化を検討します。</li> </ul>

#### (4) スポーツ・レクリエーション系施設

##### ■施設概要

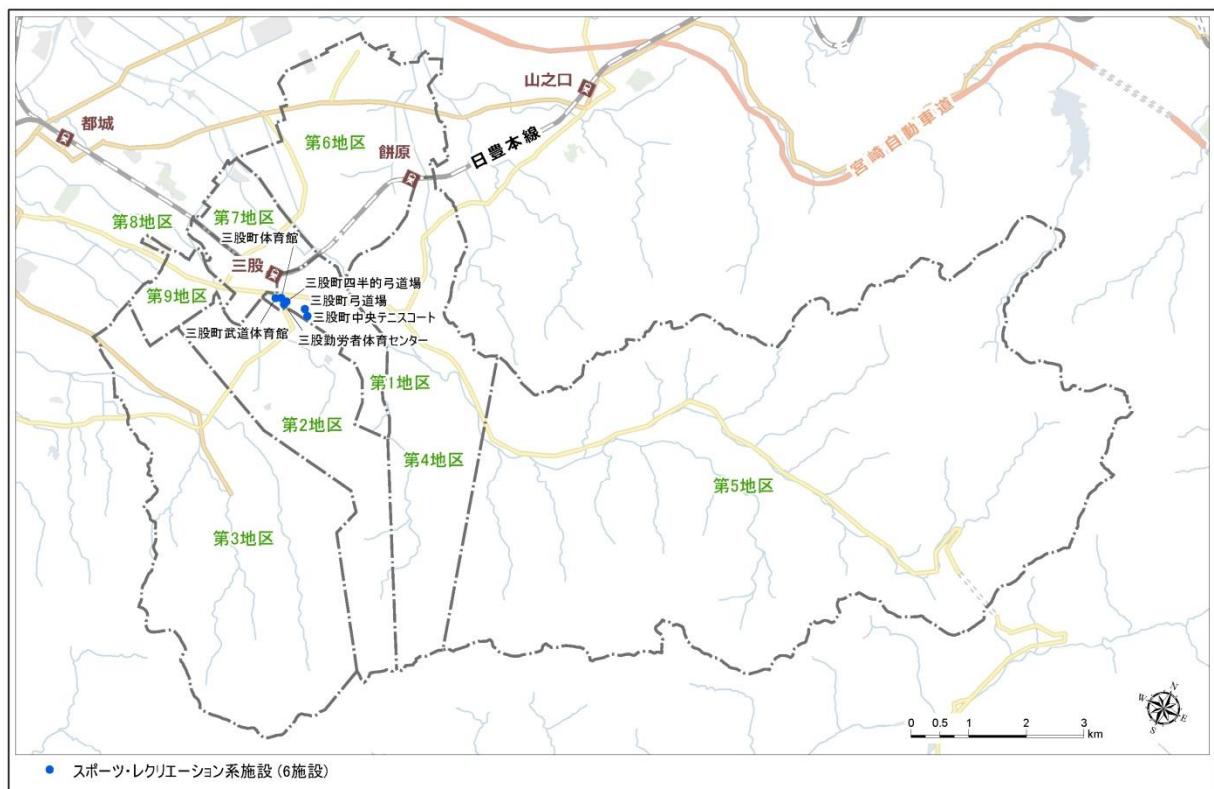
- ・町民の体位及び体力向上並びにスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、スポーツ関連の施設の設置を行っています。
- ・スポーツ施設として、体育館、弓道場 テニスコート等の6施設を設置しています。

表 スポーツ・レクリエーション施設の一覧

施設情報					建物情報(代表建物)			
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
三股町弓道場	教育課	第1地区	660㎡	無	2011年度	4年	木造	新耐震基準
三股町四半的弓道場	教育課	第1地区	150㎡	無	1980年度	35年	鉄骨	旧耐震基準
三股町中央テニスコート	教育課	第1地区	77㎡	無	1992年度	23年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
三股町体育館	教育課	第1地区	838㎡	無	1964年度	51年	鉄骨	旧耐震基準
三股町武道体育館	教育課	第1地区	1,595㎡	無	1977年度	38年	鉄骨	旧耐震基準
三股勤労者体育センター	教育課	第1地区	997㎡	無	1978年度	37年	鉄骨	旧耐震基準

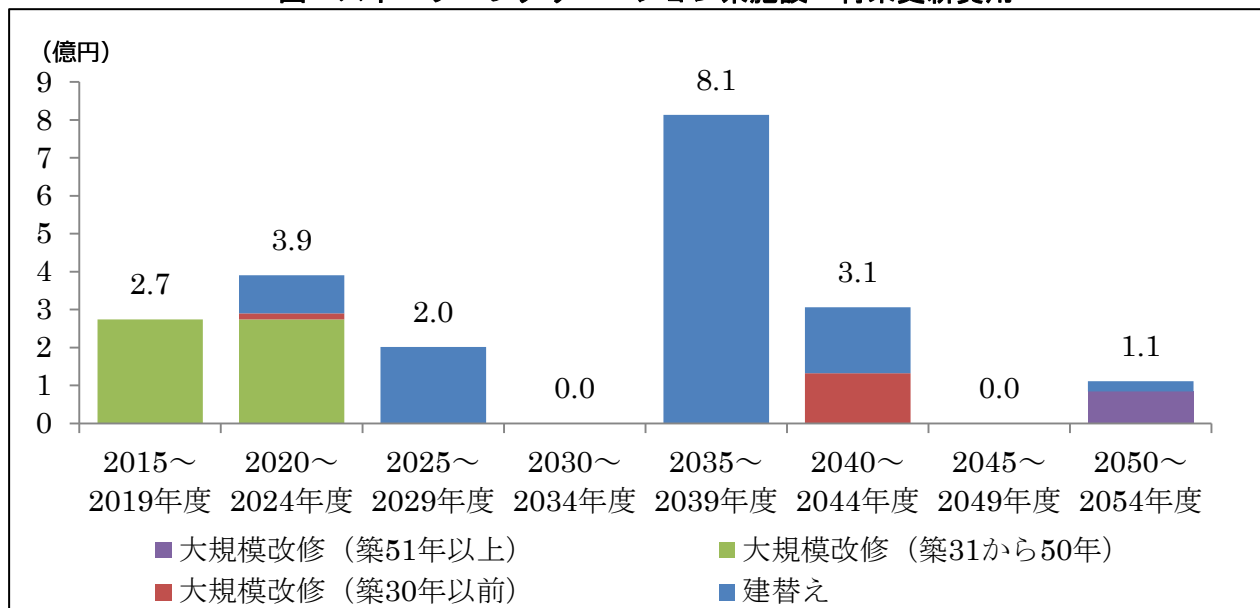
※建設時の耐震基準を表示しています。

##### ■配置状況



## ■将来更新費用

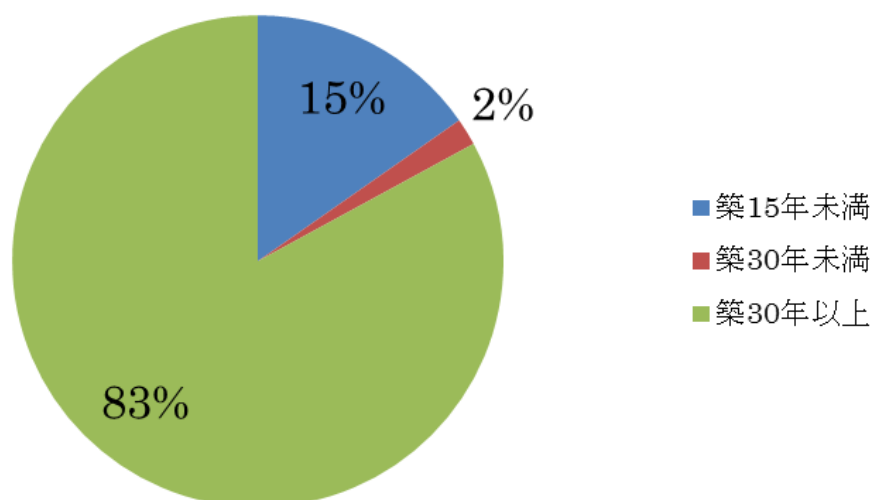
図 スポーツ・レクリエーション系施設 将来更新費用



将来更新費用は、2035年度から2039年度までは、大規模改修及び建替えが集中することが予想されます。

## ■施設老朽化状況

スポーツ・レクリエーション系施設の築後年数の割合をみると、建物の約83%が築30年以上経過しています。



## ■利用状況

利用者数の推移を施設ごとに比較すると、武道体育館では利用者が特に多い状況となっています。

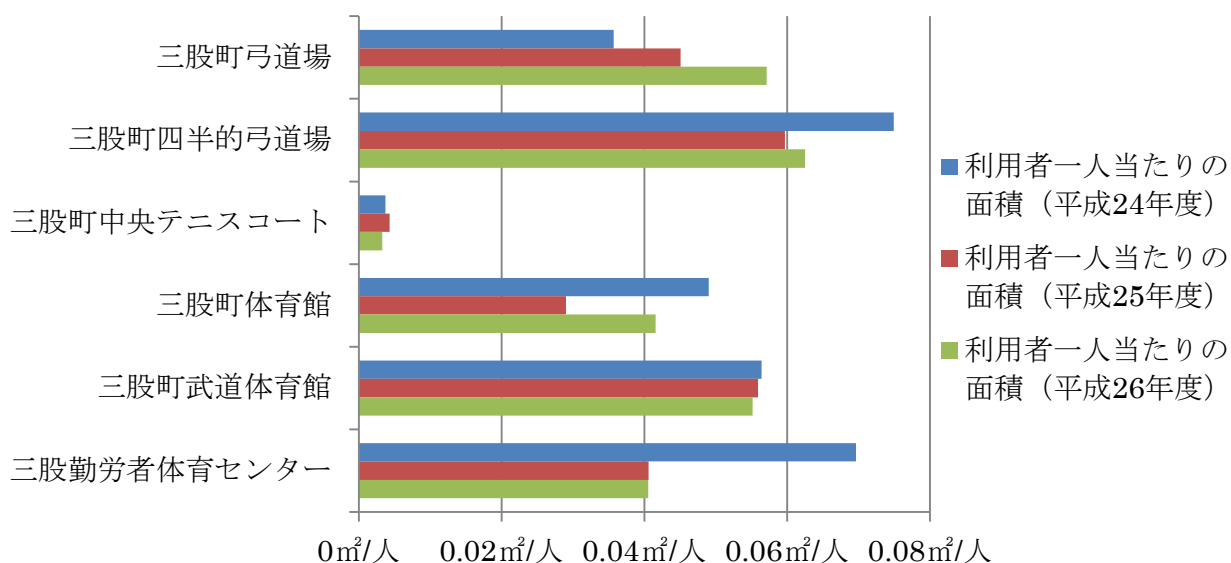
表 利用者数の推移（過去3年間）

施設名称	利用者数(平成24年度)	利用者数(平成25年度)	利用者数(平成26年度)
三股町弓道場	18,504人	14,647人	11,552人
三股町四半的弓道場	2,002人	2,514人	2,400人
三股町中央テニスコート	20,637人	17,952人	23,490人
三股町体育館	17,107人	28,898人	20,173人
三股町武道体育館	28,288人	28,528人	28,929人
三股勤労者体育センター	14,323人	24,587人	24,597人

出典元；平成24年度から平成26年度までの月別体育館施設の概況調査(教育委員会)

また、利用者一人当たりの延床面積（㎡/人）を施設ごとに比較すると、四半的弓道場と武道体育館では、他の施設と比較し過去3年間の一人当たりの面積が広い状況となっています。

図 利用者一人当たりの延床面積



出典元；平成24年度から平成26年度までの月別体育館施設の概況調査(教育委員会)より算出

## ■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6カ所設置されております。</li> <li>・築30年以上を経過した建物が約83%を占めており、老朽化している施設が多く存在します。</li> <li>⇒大規模改修が今後必要となります。</li> <li>・武道体育館は2014年度に大規模改修を行っています。</li> </ul>
----------	--

## ■管理に関する基本的な方針

体育館、三股町弓道場、テニスコート、体育センター、四半的弓道場	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・町民や職員目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐新耐震基準のものは耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> <li>・旧耐震基準のものは耐震性の確保に努めます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に大規模改修の時期を迎えている施設は、長寿命化に貢献する改修を併せて実施し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。</li> <li>・その他の施設は定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の用途の施設との統廃合は検討しません。</li> </ul>

(5) 町営住宅・教職員住宅

■施設概要

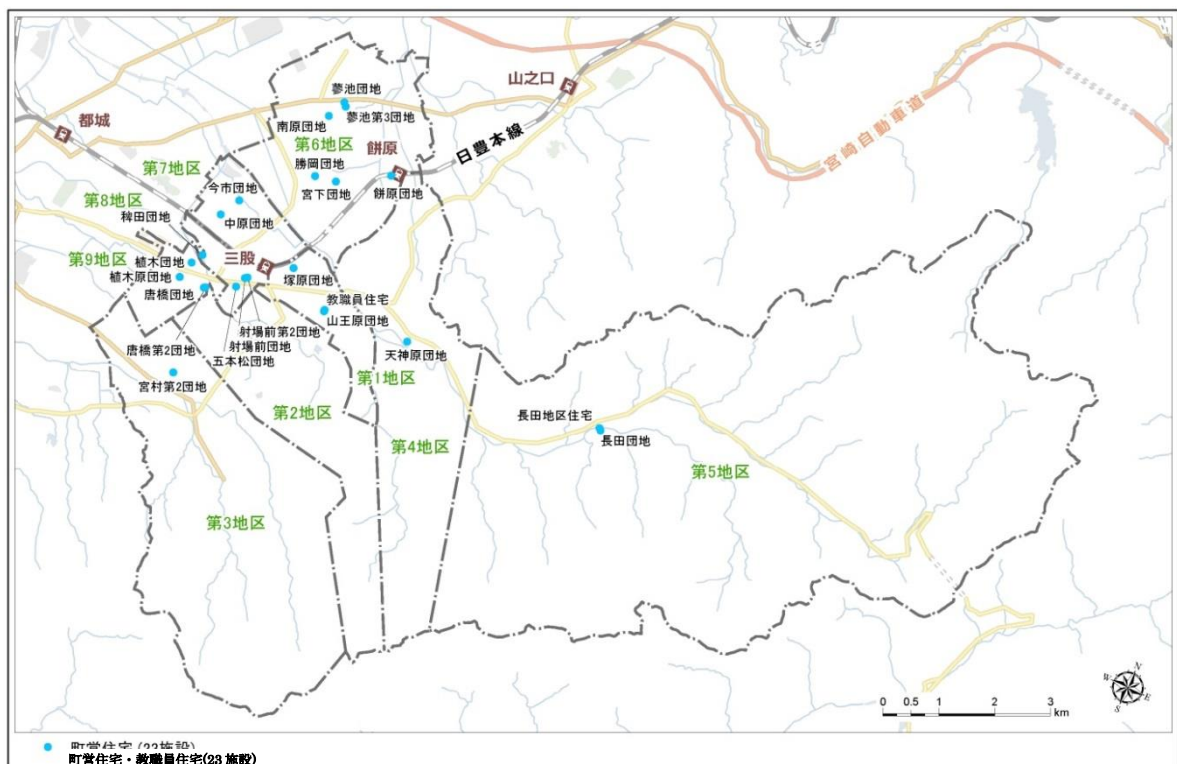
- ・町営住宅は公営住宅法(昭和26年法律第193号)に基づき、町が建設、買取り又は借上げを行い、低額所得者に賃貸し、又は転貸するための住宅及びその附属施設であります。

表 町営住宅の一覧

施設情報					建物情報(代表建物)			
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
塚原団地	都市整備課	第1地区	4,489㎡	無	2012年度	3年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
山王原団地	都市整備課	第1地区	2,981㎡	無	1979年度	36年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
教職員住宅	教育課	第1地区	122㎡	無	1972年度	43年	木造	旧耐震基準
宮村第2団地	都市整備課	第3地区	733㎡	無	1988年度	27年	木造	新耐震基準
天神原団地	都市整備課	第4地区	791㎡	無	1968年度	47年	コンクリートブロック	旧耐震基準
長田地区住宅	都市整備課	第5地区	79㎡	無	2013年度	2年	木造	新耐震基準
長田団地	都市整備課	第5地区	733㎡	無	1986年度	29年	木造	新耐震基準
南原団地	都市整備課	第6地区	1,786㎡	無	1981年度	34年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
蓼池第3団地	都市整備課	第6地区	567㎡	無	1967年度	48年	コンクリートブロック	旧耐震基準
蓼池団地	都市整備課	第6地区	131㎡	無	1964年度	51年	コンクリートブロック	旧耐震基準
餅原団地	都市整備課	第6地区	599㎡	無	1967年度	48年	コンクリートブロック	旧耐震基準
宮下団地	都市整備課	第6地区	756㎡	無	1968年度	47年	コンクリートブロック	旧耐震基準
勝岡団地	都市整備課	第6地区	728㎡	無	1967年度	48年	コンクリートブロック	旧耐震基準
今市団地	都市整備課	第7地区	1,723㎡	無	1973年度	42年	コンクリートブロック	旧耐震基準
中原団地	都市整備課	第7地区	7,732㎡	無	2005年度	10年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
稗田団地	都市整備課	第8地区	3,771㎡	無	1976年度	39年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
射場前第2団地	都市整備課	第8地区	761㎡	無	1963年度	52年	コンクリートブロック	旧耐震基準
射場前団地	都市整備課	第8地区	715㎡	無	1962年度	53年	コンクリートブロック	旧耐震基準
五本松団地	都市整備課	第8地区	4,981㎡	無	1971年度	44年	コンクリートブロック	旧耐震基準
植木団地	都市整備課	第9地区	315㎡	無	1965年度	50年	コンクリートブロック	旧耐震基準
植木原団地	都市整備課	第9地区	126㎡	無	1966年度	49年	コンクリートブロック	旧耐震基準
唐橋第2団地	都市整備課	第9地区	3,942㎡	無	1983年度	32年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
唐橋団地	都市整備課	第9地区	1,531㎡	無	1978年度	37年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準

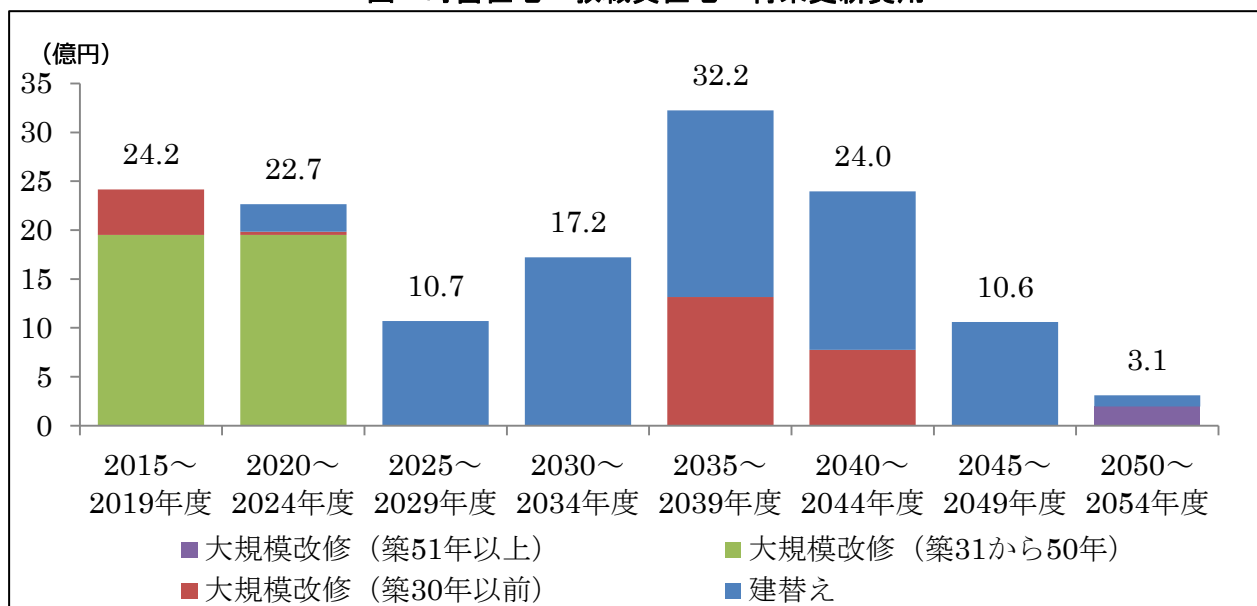
※建設時の耐震基準を表示しています。

■配置状況



## ■将来更新費用

図 町営住宅・教職員住宅 将来更新費用

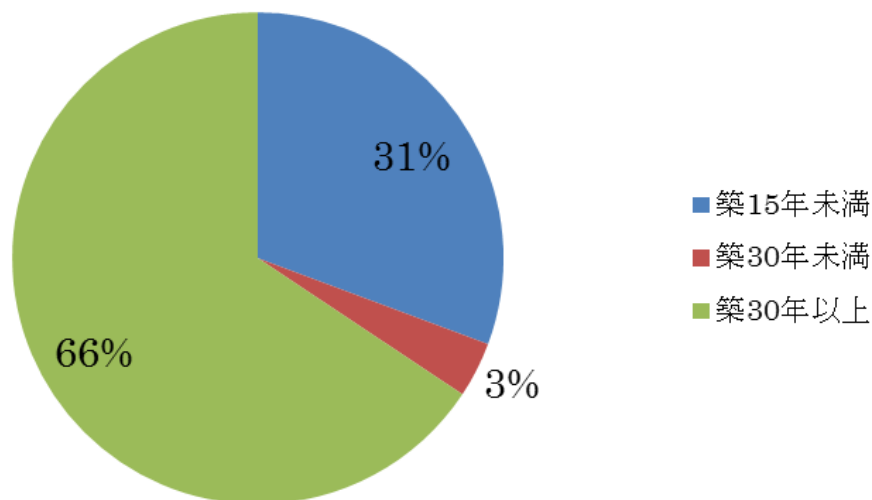


将来更新費用は、大規模改修費用として2019年度までの5年間に約24億円が必要となる見込みです。建替えと大規模改修費用として2035年度から2044年度までは約56億円が必要となる見込みです。

## ■施設老朽化状況

町営住宅・教職員住宅の築後年数の割合をみると、建物の約66%が築30年以上経過しています。

図 築年別の施設数





## ■利用状況

町営住宅について入居戸数の推移を施設ごとに比較すると、平成26年度の入居率が80%を超える施設は22施設中12施設となります。

表 入居戸数及び入居率の推移（過去3年間）

団地名	戸数	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
		入居戸数	入居率	入居戸数	入居率	入居戸数	入居率
射場前団地	23	7	30.4%	7	30.4%	7	30.4%
射場前第2団地	24	9	37.5%	8	33.3%	8	33.3%
蓼池団地	4	3	75.0%	3	75.0%	3	75.0%
植木団地	10	6	60.0%	5	50.0%	4	40.0%
植木原団地	4	2	50.0%	2	50.0%	2	50.0%
餅原団地	19	7	36.8%	7	36.8%	6	31.6%
蓼池第3団地	18	17	94.4%	16	88.9%	15	83.3%
勝岡団地	20	18	90.0%	18	90.0%	19	95.0%
天神原団地	20	19	95.0%	18	90.0%	16	80.0%
宮下団地	22	8	36.4%	8	36.4%	8	36.4%
五本松団地	134	100	74.6%	96	71.6%	86	64.2%
今市団地	40	39	97.5%	39	97.5%	39	97.5%
稗田団地	60	52	86.7%	55	91.7%	49	81.7%
唐橋団地	24	23	95.8%	22	91.7%	21	87.5%
山王原団地	42	41	97.6%	39	92.9%	38	90.5%
南原団地	24	24	100.0%	23	95.8%	22	91.7%
唐橋第2団地	48	44	91.7%	45	93.8%	38	79.2%
中原団地	117	113	96.6%	114	97.4%	108	92.3%
塚原団地	79	37	97.4%	74	93.7%	77	97.5%
長田団地	12	12	100.0%	11	91.7%	11	91.7%
宮村第2団地	12	12	100.0%	12	100.0%	12	100.0%
長田地区住宅	1	-		-		0	0.0%

出典元；平成24年度から平成26年度までの入居実績(都市整備課)

## ■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町営住宅は22カ所、教職員住宅は1カ所に設置されております。</li> <li>・築30年以上を経過した建物が約66%を占めており、老朽化している施設が多く存在します。またコンクリートブロック造の建物が多く、耐震性に問題があります。</li> <li>⇒建て替え及び大規模改修が今後必要となります。</li> <li>・町営住宅の需要が存在します。</li> <li>⇒70年・80年代に建築された耐火構造住宅の住環境整備が必要となります。</li> <li>⇒民間借家数、人口・世帯数の推移などから将来の町営住宅管理戸数を算出する必要があります。</li> <li>⇒民間賃貸住宅、PPP/PFI手法等の活用検討</li> <li>・2010年度に「三股町公営住宅等長寿命化計画」を策定しています。</li> </ul>
----------	---

## ■管理に関する基本的な方針

町営住宅	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・入居者目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> <li>・三股町公営住宅等長寿命化計画をもとに、維持管理・修繕・更新等を実施していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進行している施設については、安全性を加味した効果的な改修の実施を検討します。</li> <li>・その他の施設は定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易耐火平屋住宅については、耐震化を進めず、他の町営住宅への住替えを進めていきます。</li> <li>・旧耐震基準で建設された耐火構造住宅は、計画的に耐震診断を実施し、耐震性を確認していきます。</li> <li>・その他の施設は耐震性を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三股町公営住宅等長寿命化計画をもとに長寿命化を行い、ライフサイクルコストの削減に努めます。</li> </ul>

統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易耐火平屋住宅については、今後全て廃止します。</li> <li>・耐火構造住宅（中原・塚原を除く）については、入居及び設備の状況、地域の住宅需要などを踏まえ、廃止を検討していきます。</li> <li>・木造住宅においては、計画的な長期活用を図っていきます。</li> </ul>
-----------------	--

教職員住宅	
点検・診断等の実施方針について	・実施しません。
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	・実施しません。
安全確保の実施方針について	・実施しません。
耐震化の実施方針について	・実施しません。
長寿命化の実施方針について	・実施しません。
統合及び廃止の推進方針について	・今後廃止します。

(6) 行政系施設

■施設概要

庁舎等

町役場は職員の執務や町民向けの窓口業務等、町政の拠点施設としての役割と担っています。

消防詰所

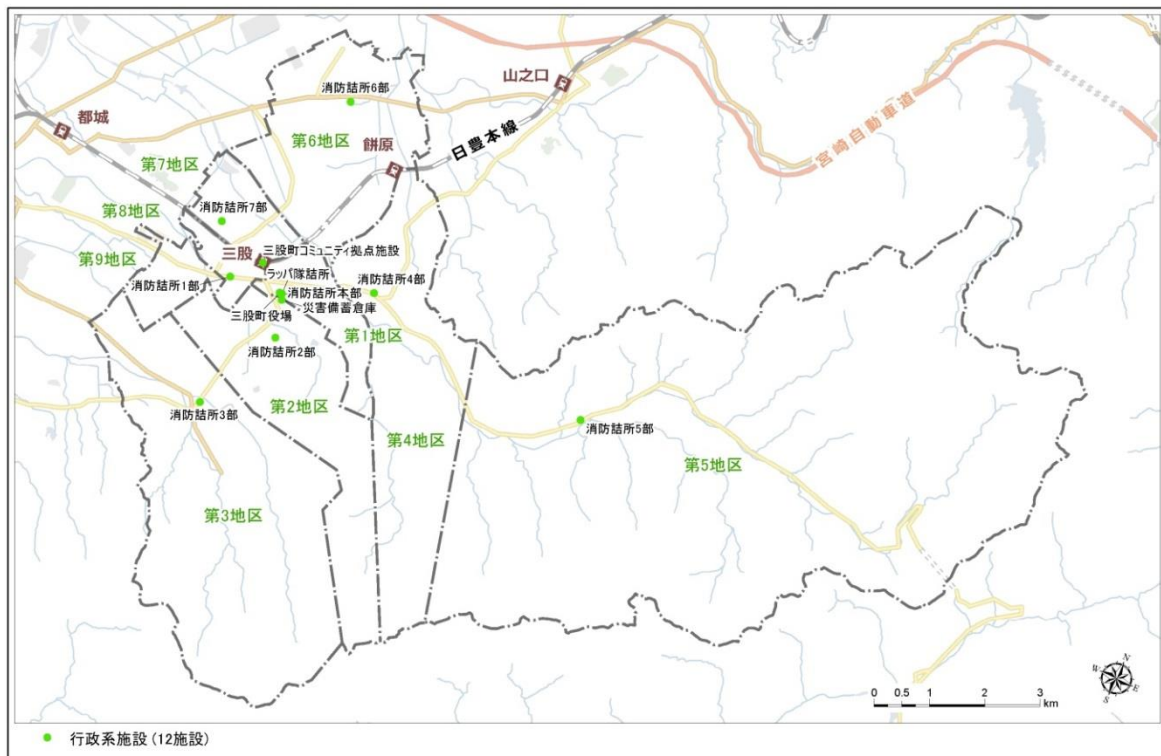
消防詰所は、各地域における災害時の待機および出動、火災予防運動、定期点検、消防ポンプ車の待機出動等の拠点となっています。

表 行政系施設の一覧

施設情報				建物情報(代表建物)				
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
三股町役場	総務課	第1地区	4,547㎡	無	1971年度	44年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
ラッパ隊詰所	総務課	第1地区	28㎡	無	1981年度	34年	軽量鉄骨造	旧耐震基準
消防詰所本部	総務課	第1地区	376㎡	無	1971年度	44年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
災害備蓄倉庫	総務課	第2地区	228㎡	無	1971年度	44年	鉄骨	旧耐震基準
消防詰所2部	総務課	第2地区	52㎡	無	1987年度	28年	鉄骨	新耐震基準
消防詰所3部	総務課	第3地区	52㎡	無	1992年度	23年	鉄骨	新耐震基準
消防詰所4部	総務課	第4地区	52㎡	無	1987年度	28年	鉄骨	新耐震基準
消防詰所5部	総務課	第5地区	76㎡	無	1988年度	27年	鉄骨	新耐震基準
消防詰所6部	総務課	第6地区	47㎡	無	1983年度	32年	コンクリートブロック	新耐震基準
消防詰所7部	総務課	第7地区	52㎡	無	1989年度	26年	鉄骨	新耐震基準
消防詰所1部	総務課	第8地区	52㎡	無	1989年度	26年	鉄骨	新耐震基準
三股町コミュニティ拠点施設	総務課	第8地区	259㎡	無	2008年度	7年	木造	新耐震基準

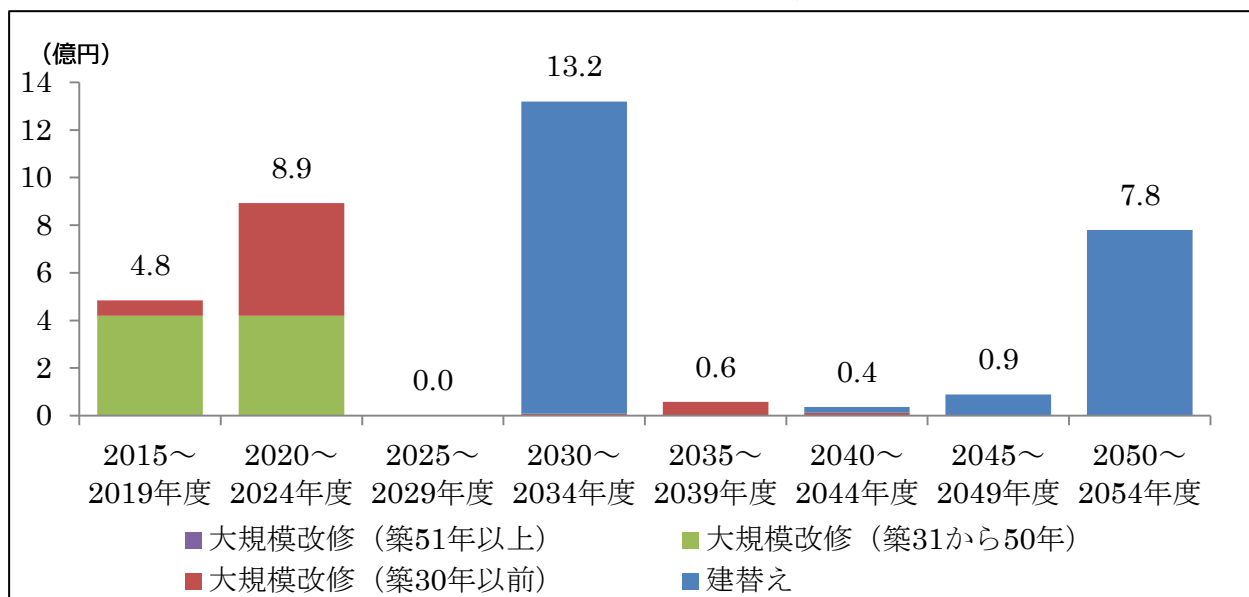
※建設時の耐震基準を表示しています。

■配置状況



## ■将来更新費用

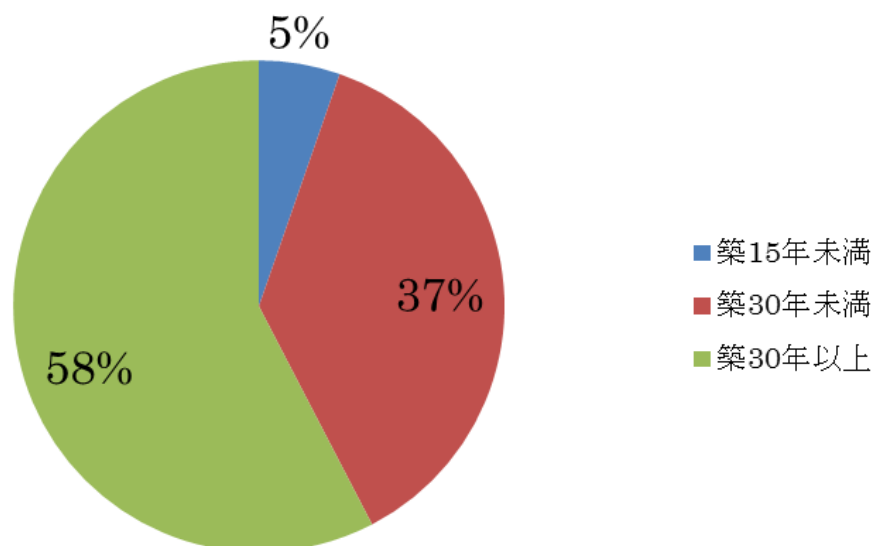
図 行政系施設 将来更新費用



将来更新費用は大規模改修費用が2024年度まで約13.7億円必要となる見込みです。2030年度以降は建替えが主となる見込みです。

## ■施設老朽化状況

行政系施設の築後年数の割合をみると、建物の約58%が築30年以上経過しています。



## ■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町役場は1カ所、コミュニティ拠点施設は1カ所、消防施設は10カ所設置されております。</li> <li>・築30年以上を経過した建物が約58%を占めており、老朽化している施設が多く存在します。</li> </ul> <p>⇒大規模改修が今後必要となります。</p> <p>⇒建替えに際しては、職員配置や将来の人口動態を見据えた適切な規模による施設整備を検討する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防詰所5部は土砂災害警戒区域内に立地しております。</li> </ul>
----------	--

## ■管理に関する基本的な方針

町役場	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・町民や利用者、職員目線で見た施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> <li>・屋外においては定期的に行い、健全な維持管理に務めます。</li> <li>・屋内においては、給排水施設やエレベータの更新を含めた大規模改修を検討します。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した効果的な改修の実施を検討します。</li> <li>・外壁については、タイル仕上げとなっており、落下の危険があるため、予防保全に努めます。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の用途の施設との統廃合は検討しません。</li> </ul>

消防詰所、災害備蓄倉庫	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・職員目線で見た施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>

維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した効果的な改修の実施を検討します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防詰所は、耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> <li>・災害備蓄倉庫は、旧耐震基準で建設されており、既存施設の耐震化だけでなく、統合や複合化、更新を含む耐震化についても検討します。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防詰所5部以外の消防詰所については、当面は他の用途の施設との統廃合は検討しませんが、将来的には立地条件を考慮し、防災拠点となる地区分館等との複合化等を検討します。</li> <li>・消防詰所5部は、他の用途の施設との複合化を検討します。</li> <li>・災害備蓄倉庫については、施設の劣化状態や機能性を考慮し、統合や複合化、更新の検討をします。</li> </ul>

三股町コミュニティ拠点施設	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・町民や職員目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> <li>・職員の目視等による点検等で、修繕が必要とされる部分を判断します。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した効果的な改修の実施を検討します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性の確保を維持しつつ今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の用途の施設との統廃合は検討しません。</li> </ul>

(7) 保健・福祉施設

■施設概要

健康管理センター

町民の健康の保持及び増進を図ることを目的として、設置されています。

シルバーワークプラザ

シルバーワークプラザは、高齢者が自己の労働能力を活用するための拠点として作業、研修、会議等の場所を提供し、もって高年齢者の福祉の増進や能力を生かした活力ある地域づくりを推進するための施設です。

山王原地域福祉センター

山王原地域における福祉活動の拠点として、住民の福祉ニーズに応じた各種事業を総合的に実施し、もって町民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図ることを目的として設置されています。

養護老人ホーム清流園

高齢入所者の養護等を目的に設置されております。

在宅老人デイ・サービスセンター

食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のためのサービスを日帰りで提供します。

福祉・消費生活相談センター

こころの相談や消費に関する相談等の事業を実施しています。

総合福祉センター（元気の杜）

福祉の総合的な拠点施設として、町民の福祉のニーズに応じた各種相談、情報や活動の場の提供を行っています。

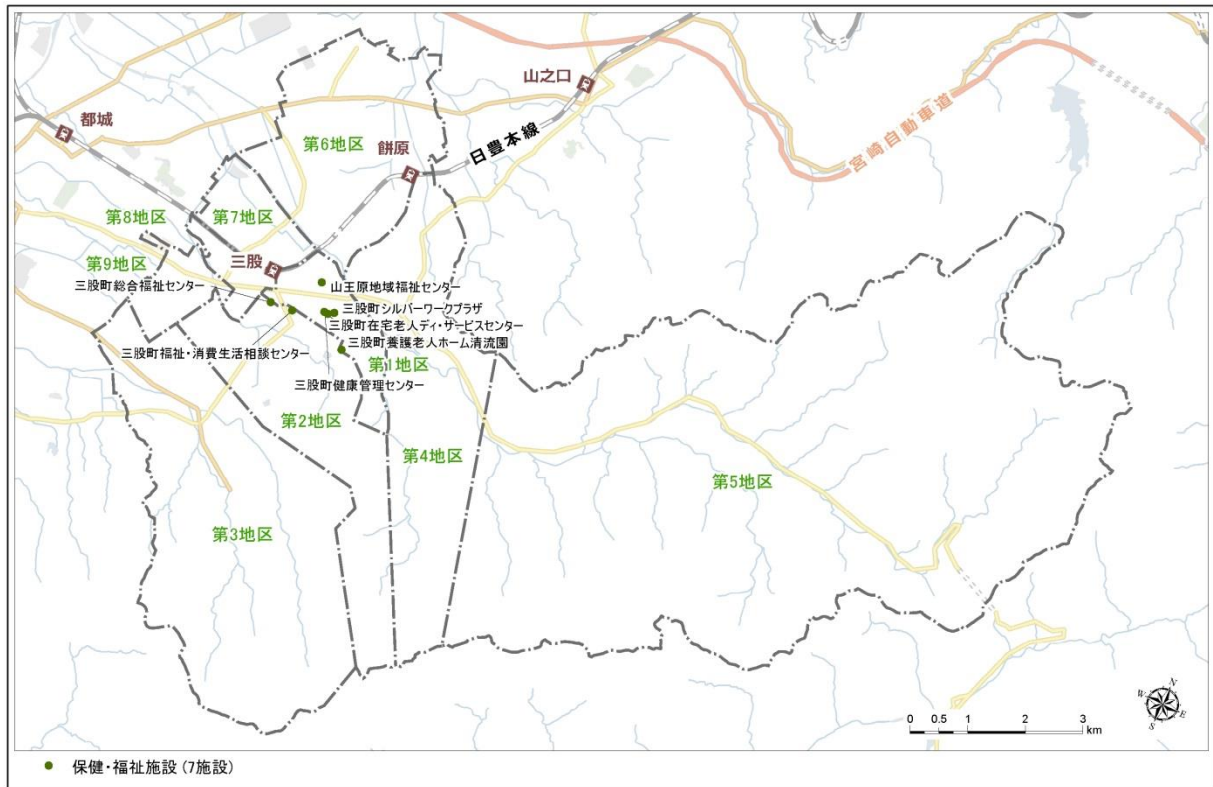
表 保健・福祉施設の一覧

施設情報					建物情報(代表建物)			
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
三股町健康管理センター	町民保健課	第1地区	1,041㎡	無	1993年度	22年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
三股町シルバーワークプラザ	福祉課	第1地区	281㎡	有	2005年度	10年	木造	新耐震基準
山王原地域福祉センター	福祉課	第1地区	266㎡	無	1966年度	49年	鉄骨	旧耐震基準
三股町養護老人ホーム清流園	福祉課	第1地区	1,444㎡	有	1979年度	36年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
三股町在宅老人デイ・サービスセンター	福祉課	第1地区	419㎡	有	1988年度	27年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
三股町福祉・消費生活相談センター	福祉課	第2地区	116㎡	無	1993年度	22年	軽量鉄骨造	新耐震基準
総合福祉センター(元気の杜)	福祉課	第2地区	2,259㎡	有	2004年度	11年	木造	新耐震基準

※建設時の耐震基準を表示しています。

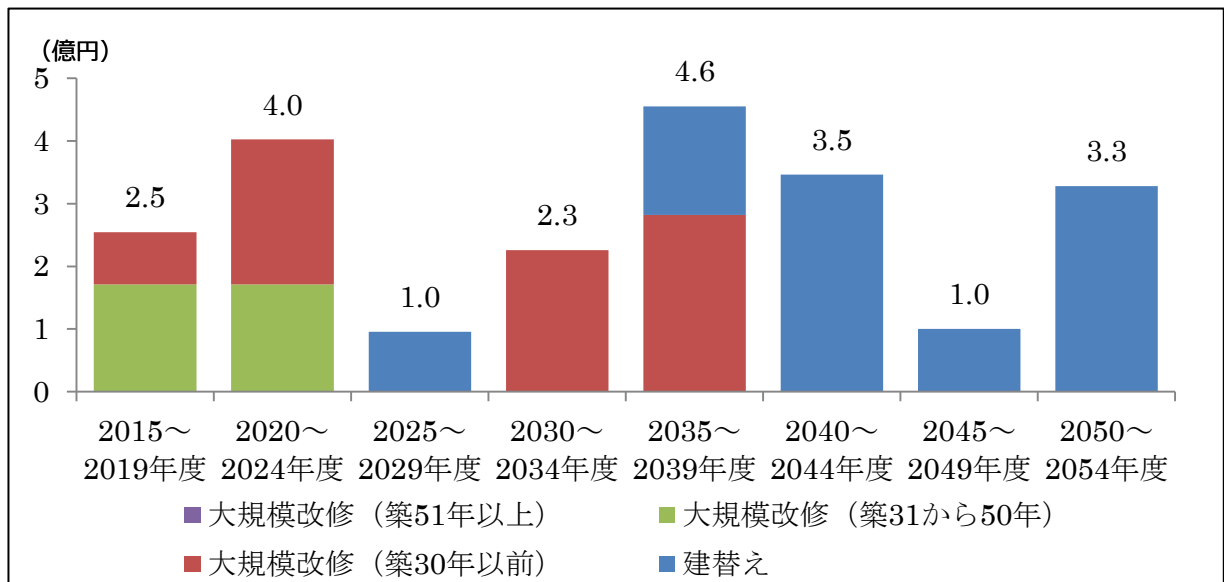


## ■配置状況



## ■将来更新費用

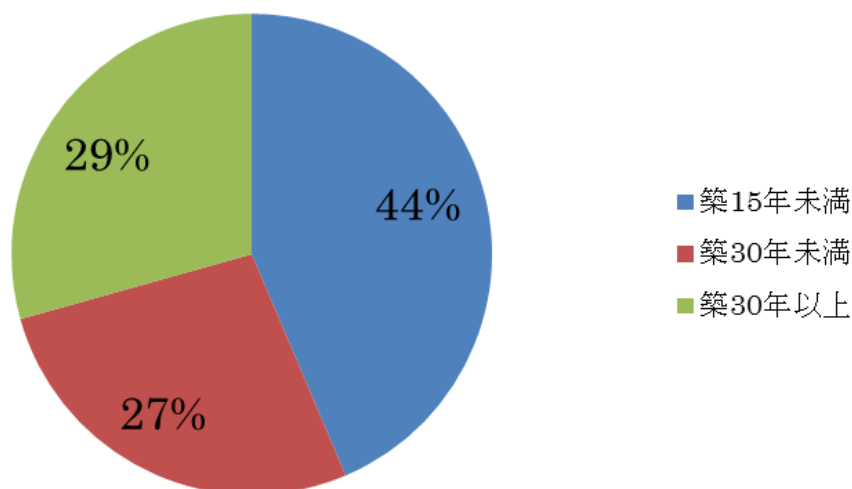
図 保健・福祉施設 将来更新費用



将来更新費用は大規模改修費用が2019年度まで約2.5億円必要となる見込みです。建替えと大規模改修費用として2035年度から2044年度までは約8.1億円が必要となる見込みです。

## ■施設老朽化状況

保健・福祉系施設の築後年数の割合をみると、建物の約29%が築30年以上経過しています。



## ■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7カ所設置されております。</li> <li>・築15年未満の建物が約44%を占めており、比較的新しい施設が多いです。</li> </ul>
----------	--

## ■管理に関する基本的な方針

健康管理センター	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・町民や職員目線で見つかった施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的な利用者数の動向を考慮した統廃合や複合化、更新の検討をします。</li> </ul>

福祉・消費生活相談センター、シルバーワークプラザ、地域福祉センター、清流園、在宅老人デイ・サービスセンター、総合福祉センター	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・職員目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した効果的な改修の実施を検討します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧耐震基準で建設されている施設は、耐震性の確保に努めます。</li> <li>・その他の施設は、耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的な利用者数の動向を考慮した統廃合や複合化、更新の検討をします。</li> <li>・民間参入を考慮した貸付や譲渡の検討をします。</li> </ul>

(8) 社会教育系施設

■施設概要

社会教育系施設

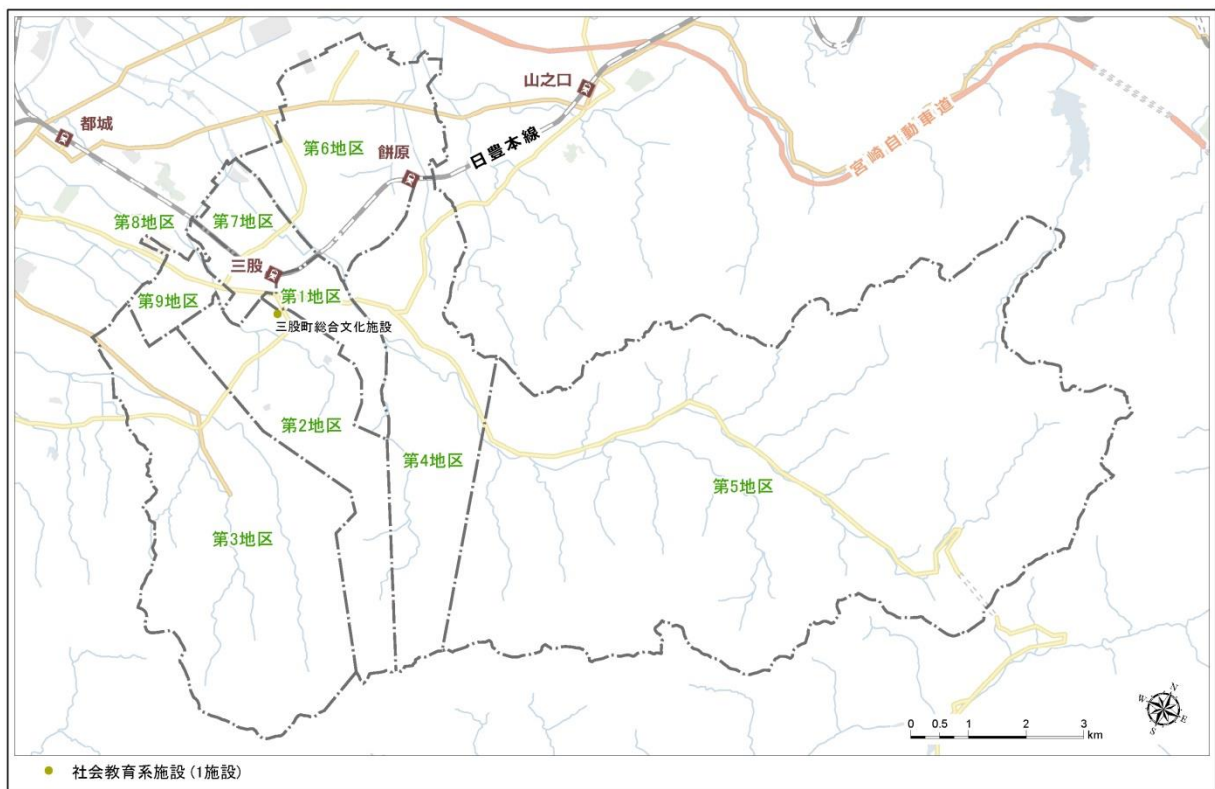
社会教育系施設は、三股町総合文化施設のことを指し、三股町立文化会館と図書館を擁する施設となっています。

表 社会教育系施設の一覧

施設情報					建物情報(代表建物)			
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
三股町総合文化施設	教育課	第2地区	5,087㎡	有	2001年度	14年	鉄筋コンクリート	新耐震基準

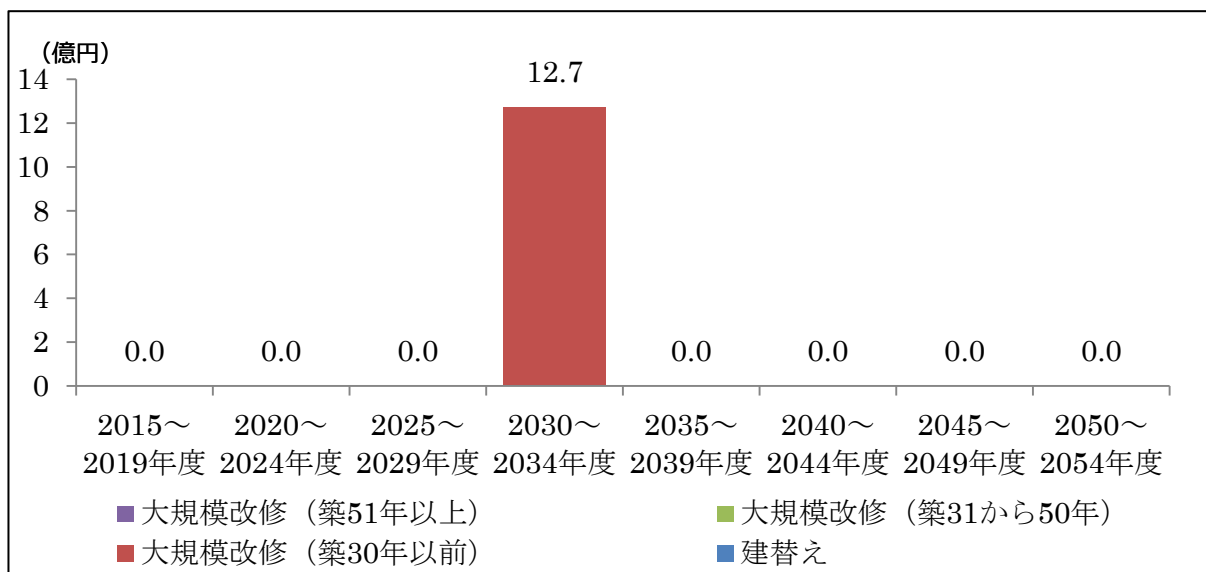
※建設時の耐震基準を表示しています。

■配置状況



■将来更新費用

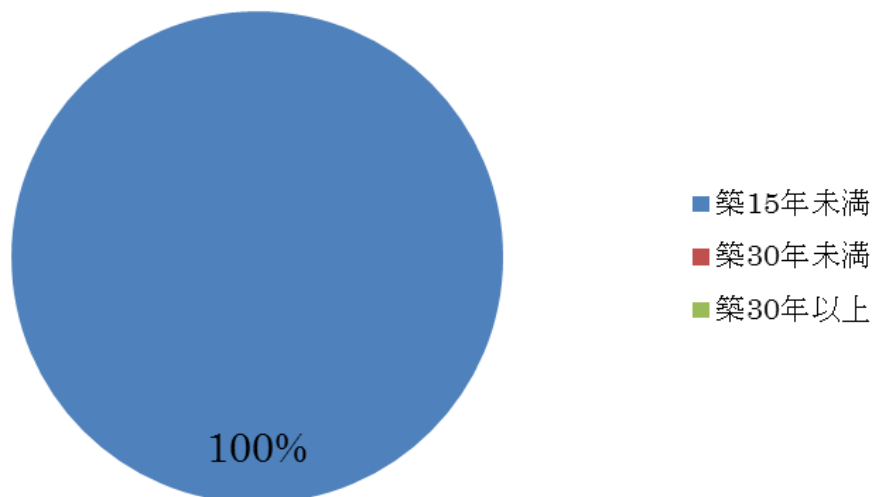
図 社会教育系施設 将来更新費用



将来更新費用は大規模改修費用が 2030 年～2034 年度に発生する見込みです。

■施設老朽化状況

社会教育系施設は比較的新しい施設です。



## ■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1カ所設置されております。</li> <li>・ 総合文化施設は 2001 年度に建設された、比較的新しい施設です。</li> </ul>
----------	--

## ■管理に関する基本的な方針

総合文化施設	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・ 利用者や職員目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の用途の施設との統廃合は検討しません。</li> </ul>

(9) 供給処理施設

■施設概要

一般廃棄物最終処分場（クリーンヒルみまた）

クリーンヒルみまたは、粗大ごみ処理施設で発生する不燃物を埋立処分しています。

リサイクルセンター

年々増加するごみの減量化及び再利用並びに環境整備のために設置されています。

衛生センター

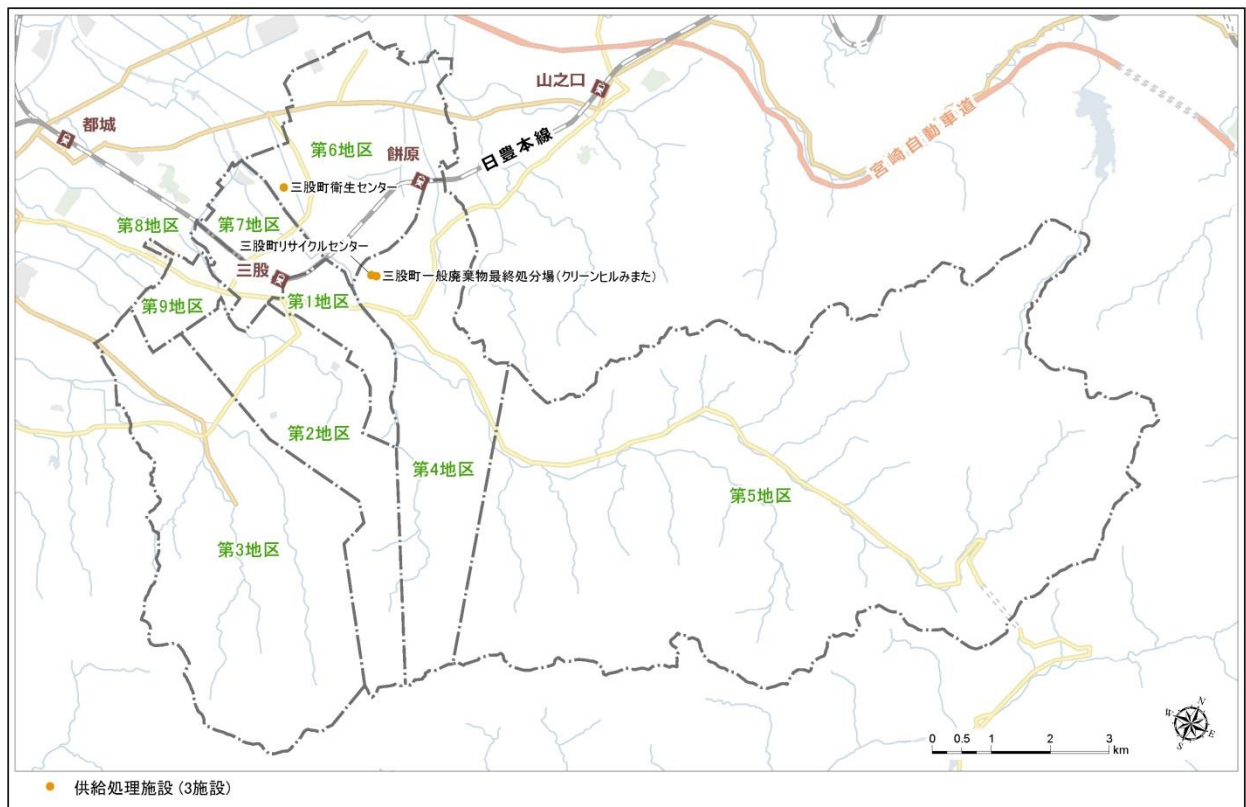
し尿を衛生的に処理することを目的とし設置されています。

表 供給処理施設の一覧

施設情報				建物情報(代表建物)				
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
三股町一般廃棄物最終処分場(クリーンヒルみまた)	環境水道課	第4地区	675㎡	有	1997年度	18年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
三股町リサイクルセンター	環境水道課	第4地区	364㎡	無	1998年度	17年	木造	新耐震基準
三股町衛生センター	環境水道課	第6地区	2,104㎡	無	1982年度	33年	鉄筋コンクリート	新耐震基準

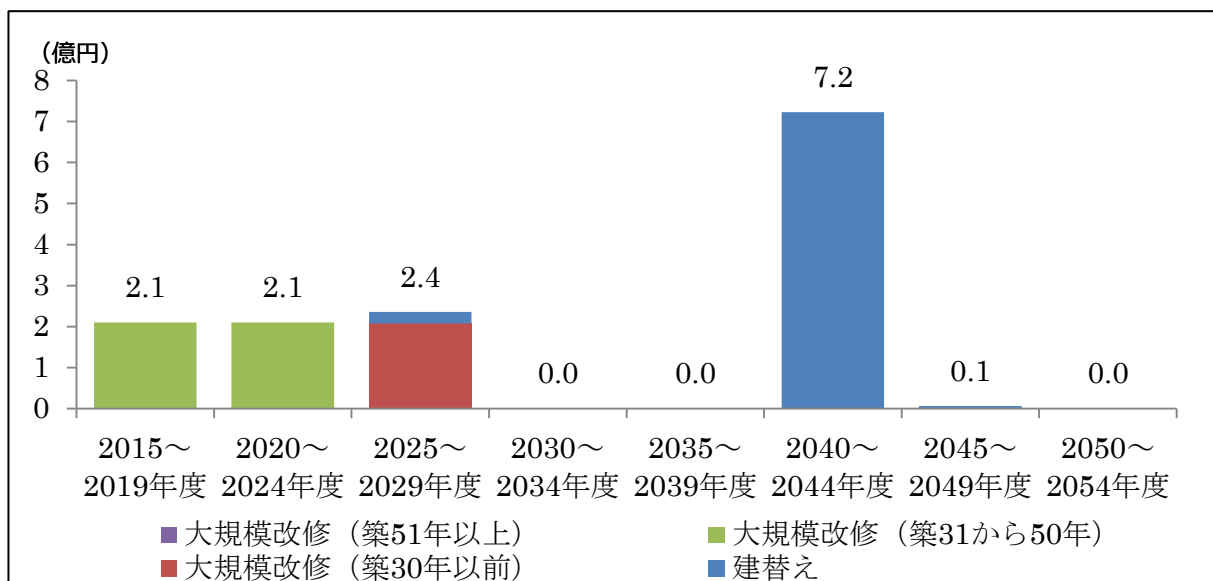
※建設時の耐震基準を表示しています。

■配置状況



## ■将来更新費用

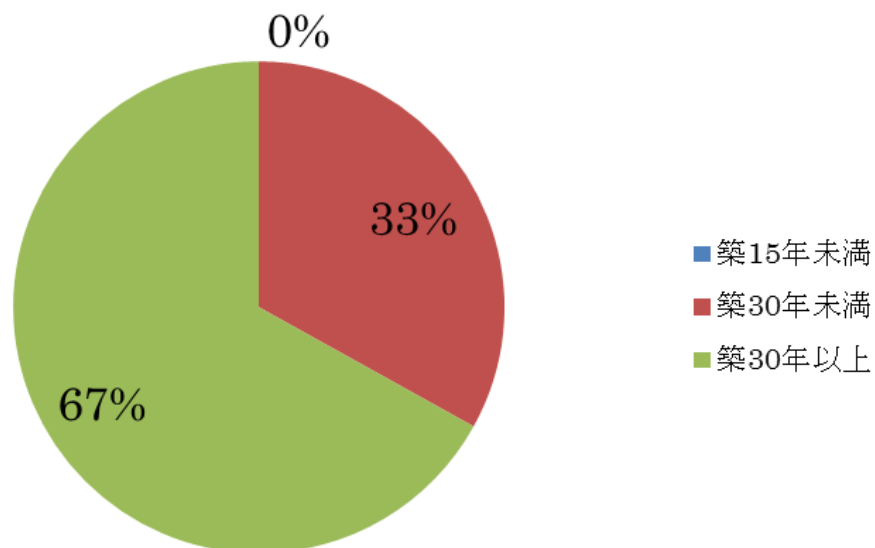
図 供給処理施設 将来更新費用



将来更新費用は大規模改修費用が2024年度まで約4.2億円必要となる見込みです。また、2040年度以降に大規模な建替えが発生する見込みです。

## ■施設老朽化状況

供給処理施設の築後年数の割合をみると、建物の約67%が築30年以上経過しています。





## ■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3カ所設置されております。</li> <li>・ 三股町衛生センターは搬入量が半減していることと、浄化槽の汚泥が増えていることから処理方法の検討が必要あります。</li> </ul>
----------	--

## ■管理に関する基本的な方針

一般廃棄物最終処分場、リサイクルセンター、衛生センター	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・ 町民や職員目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生センターについては、施設の更新について検討します。</li> <li>・ その他の施設については、他の用途の施設との統廃合は検討しません。</li> </ul>

## (10) 公園

### ■施設概要

#### 公園

旭ヶ丘運動公園は広大な敷地に陸上競技場、野球場等が設置されています。また、上米公園はパークゴルフ場が設置されており、3月から4月にかけて春まつりが行われます。

なお、上記の2公園については公園長寿命化計画が策定されています。

表 公園の一覧

#### 【建物】

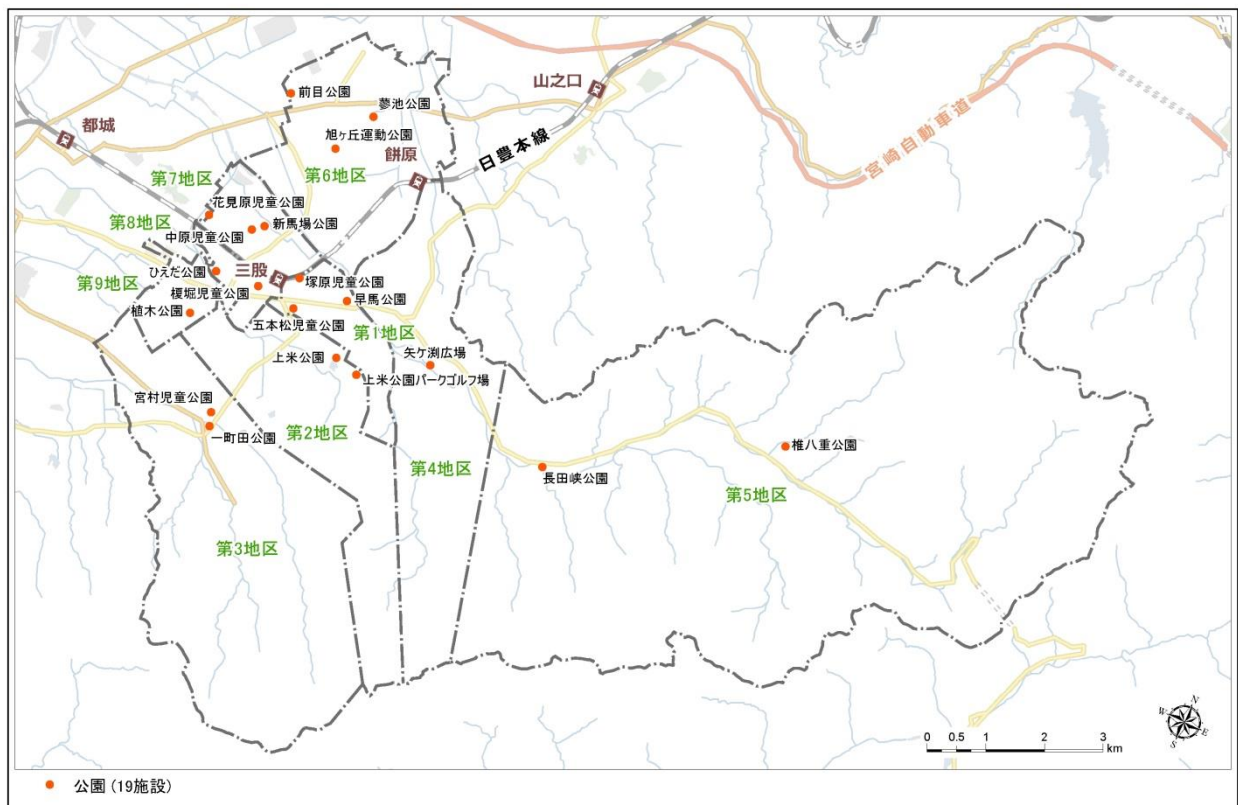
施設情報				建物情報(代表建物)				
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
上米公園パークゴルフ場	都市整備課	第2地区	146㎡	有	2005年度	10年	木造	新耐震基準
旭ヶ丘運動公園	都市整備課	第6地区	347㎡	無	1993年度	22年	鉄骨造	新耐震基準
早馬公園	都市整備課	第1地区	28㎡	無	1994年度	21年	木造	新耐震基準
塚原児童公園	都市整備課	第1地区	7㎡	無	1998年度	17年	木造	新耐震基準
五本松児童公園	都市整備課	第1地区	9㎡	無	1998年度	17年	木造	新耐震基準
上米公園	都市整備課	第2地区	139㎡	無	1993年度	22年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
宮村児童公園	都市整備課	第3地区	7㎡	無	2001年度	14年	木造	新耐震基準
一町田公園	都市整備課	第3地区	21㎡	無	1992年度	23年	コンクリートブロック	新耐震基準
矢ヶ淵広場	都市整備課	第4地区	32㎡	無	2001年度	14年	木造	新耐震基準
長田峡公園	都市整備課	第5地区	25㎡	無	1997年度	18年	木造	新耐震基準
椎八重公園	都市整備課	第5地区	119㎡	無	1970年度	45年	木造	旧耐震基準
蓼池公園	都市整備課	第6地区	30㎡	無	2009年度	6年	木造	新耐震基準
前目公園	都市整備課	第6地区	25㎡	無	2001年度	14年	木造	新耐震基準
中原児童公園	都市整備課	第7地区	7㎡	無	1999年度	16年	木造	新耐震基準
新馬場公園	都市整備課	第7地区	27㎡	無	1995年度	20年	木造	新耐震基準
花見原児童公園	都市整備課	第7地区	7㎡	無	2013年度	2年	木造	新耐震基準
ひえだ公園	都市整備課	第8地区	71㎡	無	1979年度	36年	鉄骨	旧耐震基準
榎堀児童公園	都市整備課	第8地区	8㎡	無	2000年度	15年	木造	新耐震基準
植木公園	都市整備課	第9地区	27㎡	無	1996年度	19年	木造	新耐震基準

※建設時の耐震基準を表示しています。

【公園】

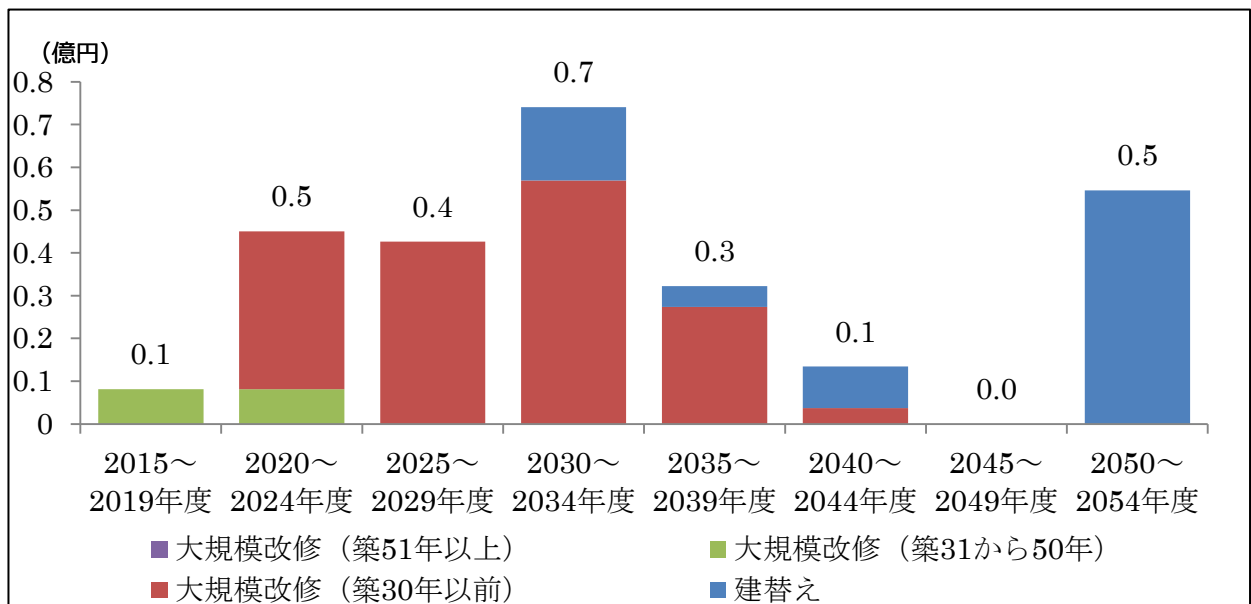
施設情報			
施設名称	所管課	種別	供用面積(ha)
旭ヶ丘運動公園	都市整備課	運動公園	15.00
上米公園	都市整備課	総合公園	24.30
ひえだ公園	都市整備課	近隣公園	1.00
前目公園	都市整備課	近隣公園	0.90
蓼池公園	都市整備課	近隣公園	0.85
早馬公園	都市整備課	近隣公園	1.10
新馬場公園	都市整備課	近隣公園	1.00
一町田公園	都市整備課	近隣公園	1.02
植木公園	都市整備課	近隣公園	1.70
五本松児童公園	都市整備課	街区公園	0.34
塚原児童公園	都市整備課	街区公園	0.52
宮村児童公園	都市整備課	街区公園	0.40
中原児童公園	都市整備課	街区公園	0.25
花見原児童公園	都市整備課	街区公園	0.25
榎堀児童公園	都市整備課	街区公園	0.20
五本松小公園	都市整備課	一般公園	0.0824
植木小公園1号	都市整備課	一般公園	0.0414
植木小公園2号	都市整備課	一般公園	0.0410
植木小公園3号	都市整備課	一般公園	0.0293
椎ハ重公園	都市整備課	一般公園	3.8500
長田峡公園	都市整備課	一般公園	0.1300
矢ヶ淵公園	都市整備課	一般公園	0.5621
古堀公園	都市整備課	一般公園	0.1341
西五本松小公園	都市整備課	一般公園	0.0148
もみの木小公園	都市整備課	一般公園	0.0559
稗田小公園	都市整備課	一般公園	0.0785
都三小公園	都市整備課	一般公園	0.0399
中原小公園	都市整備課	一般公園	0.0900
植木小公園4号	都市整備課	一般公園	0.0265
植木小公園5号	都市整備課	一般公園	0.0133
植木小公園6号	都市整備課	一般公園	0.0093
植木小公園7号	都市整備課	一般公園	0.0616
植木小公園8号	都市整備課	一般公園	0.0454
植木南小公園	都市整備課	一般公園	0.0333
蓼池小公園1号	都市整備課	一般公園	0.0153
蓼池小公園2号	都市整備課	一般公園	0.0136
蓼池小公園3号	都市整備課	一般公園	0.0109
三本松小公園	都市整備課	一般公園	0.0109
やまと小公園	都市整備課	一般公園	0.0182
大鷲巣小公園	都市整備課	一般公園	0.0112
眺霧台小公園	都市整備課	一般公園	0.0282
三股橋河川敷公園右岸(上流)	都市整備課	河川敷公園	0.9
三股橋河川敷公園右岸(下流)	都市整備課	河川敷公園	0.7
三股橋河川敷公園左岸(上流)	都市整備課	河川敷公園	0.9
三股橋河川敷公園左岸(下流)	都市整備課	河川敷公園	0.6
岩下橋下河川敷公園右岸	都市整備課	河川敷公園	1
岩下橋下河川敷公園左岸	都市整備課	河川敷公園	1.8
梶山橋下河川敷公園右岸	都市整備課	河川敷公園	0.7
梶山橋下河川敷公園左岸	都市整備課	河川敷公園	1.8
今市橋下河川敷公園右岸	都市整備課	河川敷公園	不明
早馬下河川敷公園左岸	都市整備課	河川敷公園	不明

## ■配置状況（建物）



## ■将来更新費用（建物）

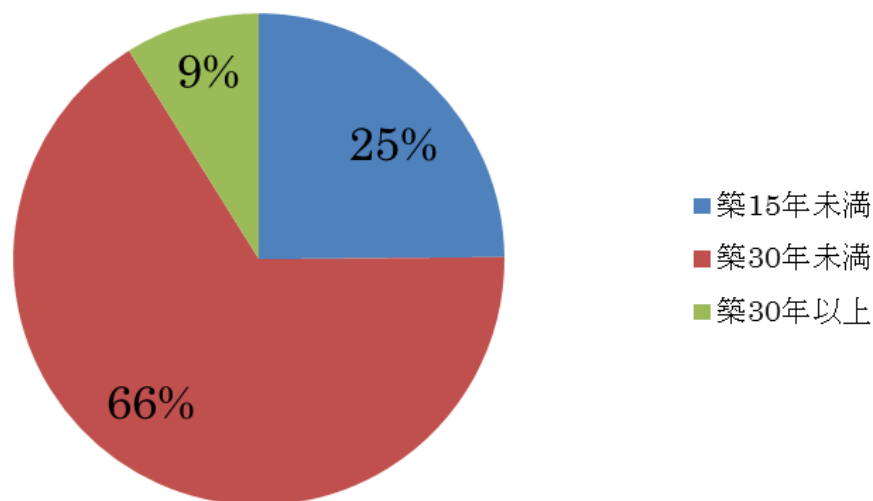
図 公園（建物） 将来更新費用



将来更新費用は大規模改修費用が2029年度まで約1.0億円必要となる見込みです。

## ■施設老朽化状況（建物）

公園（建物）の築後年数の割合をみると、建物の約91%が築30年未満です。



## ■現状・課題

<p>現状及び課題認識</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うるおいのある生活環境をもたらす公園はスポーツレクリエーション活動を行う場以外にも災害の緩和や避難・救助活動の場としても、町民の生活に必要な施設であります。</li> <li>・上米公園や椎八重公園等の観光公園は町外の人々にも親しまれています。</li> <li>・公園の施設は老朽化が進んでいることから、維持管理が必要となっています。</li> <li>・2012年度に「三股町公園施設長寿命化計画」を策定しています。</li> <li>・上米公園パークゴルフ場は指定管理者制度の施設となっています。</li> </ul> <p>⇒その他の施設において、指定管理者制度導入の促進を図ることが検討されます。</p> <p>⇒管理運営方法の見直しによる利用者の増加や施設運営コストの縮減</p> <p>⇒徴収料金の検討による受益者負担の適正化が必要です。</p>
-----------------	--

## ■管理に関する基本的な方針

公園	
<p>点検・診断等の実施方針について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・町民や職員目線で見つかった施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>

維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の耐震基準はありませんが、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の少ない小公園については、今後統合や廃止を検討していきます。</li> <li>・くみ取り式のトイレは、今後廃止します。</li> </ul>

(11) その他

■施設概要

墓苑高才原

共葬墓地施設の使用の適正化を図ることを目的とし、設置されています。

殿岡生活改善センター

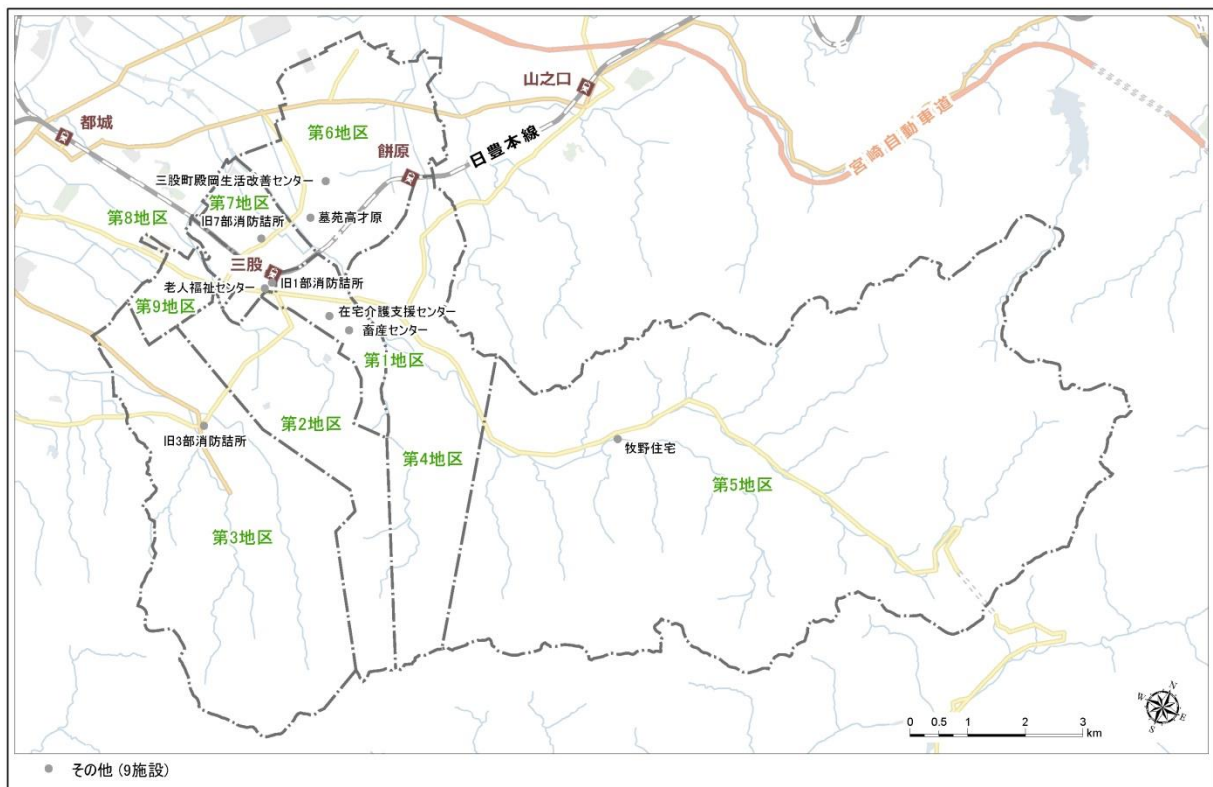
生活改善に関する定期的な講座を開講し、町民生活の向上を図ることを目的として設置されています。

表 その他施設の一覧

施設情報				建物情報(代表建物)				
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
在宅介護支援センター	福祉課	第1地区	155㎡	無	1997年度	18年	鉄骨	新耐震基準
畜産センター	産業振興課	第1地区	52㎡	無	1973年度	42年	鉄骨	旧耐震基準
旧3部消防詰所	総務課	第3地区	20㎡	無	1961年度	54年	コンクリートブロック	旧耐震基準
牧野住宅	総務課	第5地区	60㎡	無	1961年度	54年	木造	旧耐震基準
墓苑高才原	環境水道課	第6地区	64㎡	有	1999年度	16年	木造	新耐震基準
三股町殿岡生活改善センター	産業振興課	第6地区	283㎡	無	1989年度	26年	木造	新耐震基準
旧7部消防詰所	総務課	第7地区	20㎡	無	1961年度	54年	コンクリートブロック	旧耐震基準
老人福祉センター	福祉課	第8地区	460㎡	無	1968年度	47年	鉄筋コンクリート	旧耐震基準
旧1部消防詰所	総務課	第8地区	20㎡	無	1961年度	54年	コンクリートブロック	旧耐震基準

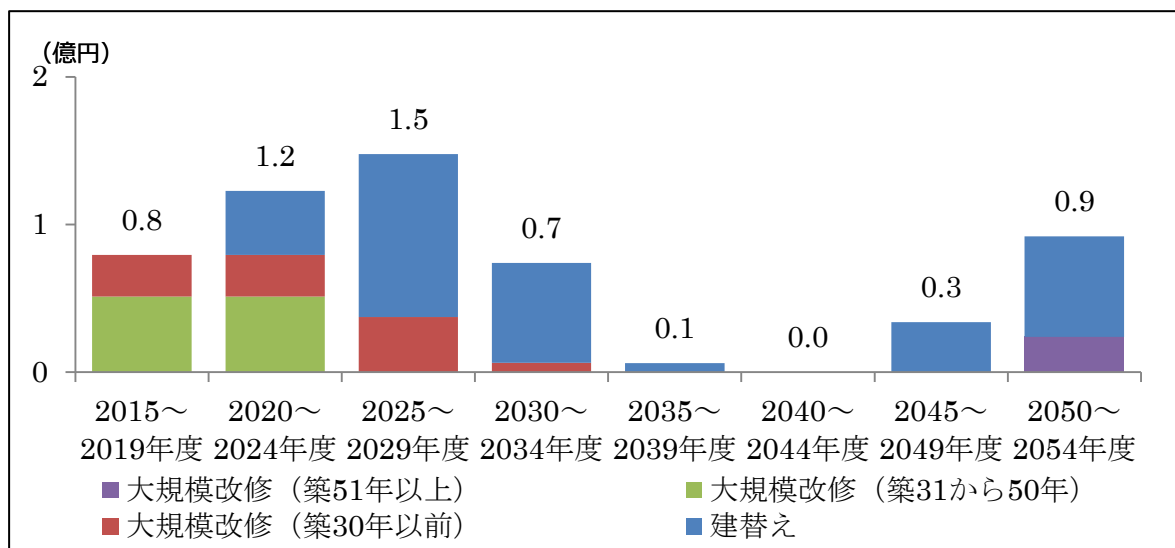
※建設時の耐震基準を表示しています。

■配置状況



## ■将来更新費用

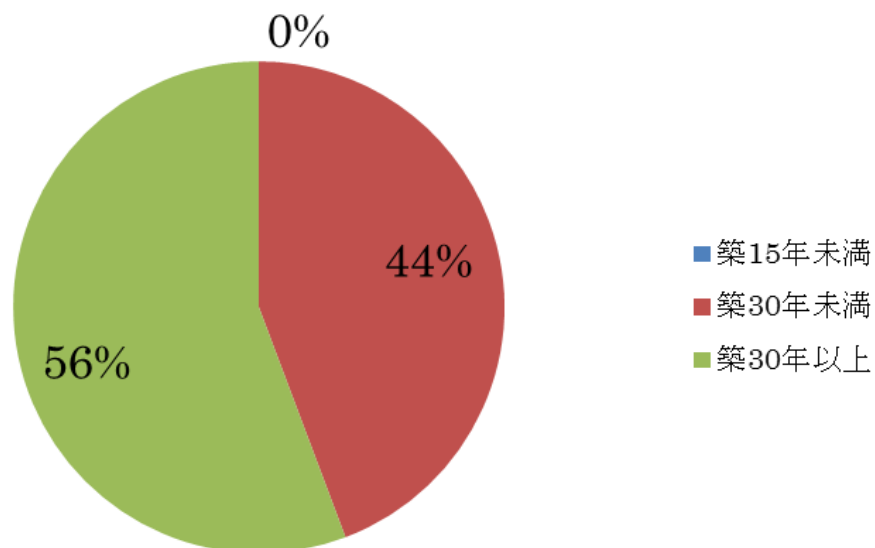
図 その他施設 将来更新費用



将来更新費用は大規模改修費用が2019年度まで約0.8億円必要となる見込みです。また2025年度以降には継続して建替えが発生する見込みです。

## ■施設老朽化状況

その他の施設の築後年数の割合をみると、建物の約56%が築30年以上経過しています。





## ■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通財産として取り扱っている施設が6施設あります。</li> <li>・墓苑高才原は共葬墓地施設で利用されています。</li> </ul>
----------	---

## ■管理に関する基本的な方針

在宅介護支援センター、老人福祉センター、旧1部消防詰所、旧3部消防詰所、旧7部消防詰所、牧野住宅	
点検・診断等の実施方針について	・必要に応じて、個別の調査・診断等を実施していきます。
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	・必要に応じて、修繕等を実施していきます。
安全確保の実施方針について	・必要に応じて、安全確保の措置を取ります。
耐震化の実施方針について	・実施しません。
長寿命化の実施方針について	・実施しません。
統合及び廃止の推進方針について	・貸付や売却等行い有効活用できるように検討し、維持管理コストの軽減を図ります。

畜産センター、殿岡生活改善センター	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・町民や職員目線で見つかった施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。
安全確保の実施方針について	・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。
耐震化の実施方針について	・耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。
長寿命化の実施方針について	・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。
統合及び廃止の推進方針について	・貸付や売却等行い有効活用できるように検討し、維持管理コストの軽減を図ります。

墓苑高才原	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・町民や職員目線で見えた施設の劣化、損傷の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震性の確保を維持しつつ、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の用途の施設との統廃合は検討しません。</li> </ul>

## (12) 道路・橋梁

### ■施設概要

種別	実延長
町道	419,936.41m
農道	46,707.08m
林道	27,693m

種別	実延長	本数
橋梁 (橋梁長寿命化計画より)	1,701.55m	84 橋

### ■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路は地域社会における最も基本的な交通基盤であることから、整備した町道・橋梁を修繕していく必要があります。</li><li>・子供から高齢者や障がい者まで、誰でも安全で快適に利用することができる道路環境を確保する必要があります。</li></ul>
----------	---

### ■管理に関する基本的な方針

道路・橋梁	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路は職員による路面確認調査や町民や利用者による情報集約に努めます。</li></ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"><li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から更新及び修繕を検討していきます。</li></ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"><li>・定期的な点検や修繕を行い、安全性を加味した施設を維持します。</li><li>・橋梁は長寿命化計画に沿った点検を行います。</li></ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"><li>・重要な橋梁の落橋防止対策はされていますが、今後の災害に備えるための維持管理を継続していきます。</li></ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"><li>・橋梁長寿命化計画に沿って長寿命化を図り、安全確保やコスト削減に努めます。</li></ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"><li>・町道・橋梁は廃止しませんが、計画にある都市計画道路で長期間着手されていない道路等は見直しを行います。</li></ul>

## (13) 下水道施設

### ■施設概要

#### 下水道施設

町民生活における公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与しています。

表 下水道施設の一覧

#### 【建物】

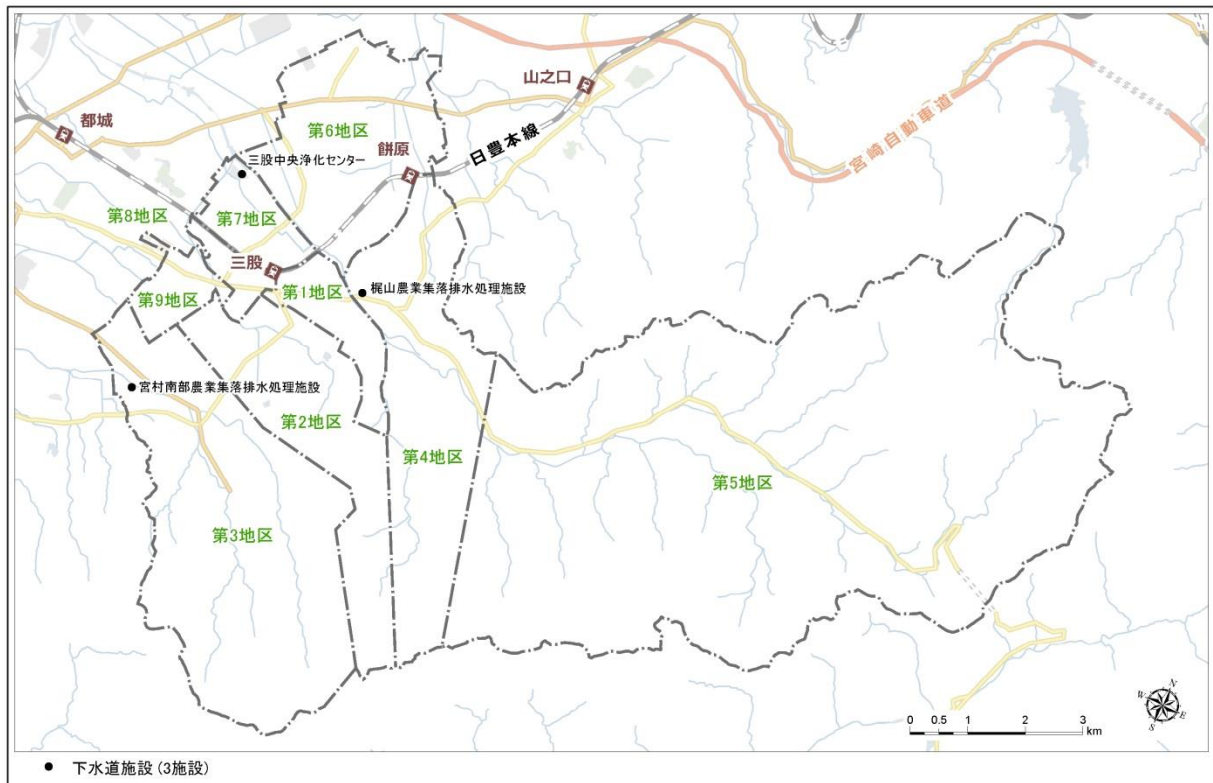
施設情報					建物情報(代表建物)			
施設名称	所管課	地区	延床面積	指定管理	建築年度(西暦)	経過年数	主体構造	耐震基準
宮村南部農業集落排水処理施設	環境水道課	第3地区	148m <sup>2</sup>	有	1999年度	16年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
梶山農業集落排水処理施設	環境水道課	第4地区	116m <sup>2</sup>	有	1994年度	21年	鉄筋コンクリート	新耐震基準
三股中央浄化センター	環境水道課	第7地区	1,760m <sup>2</sup>	有	2003年度	12年	鉄筋コンクリート	新耐震基準

※建設時の耐震基準を表示しています。

#### 【管路】

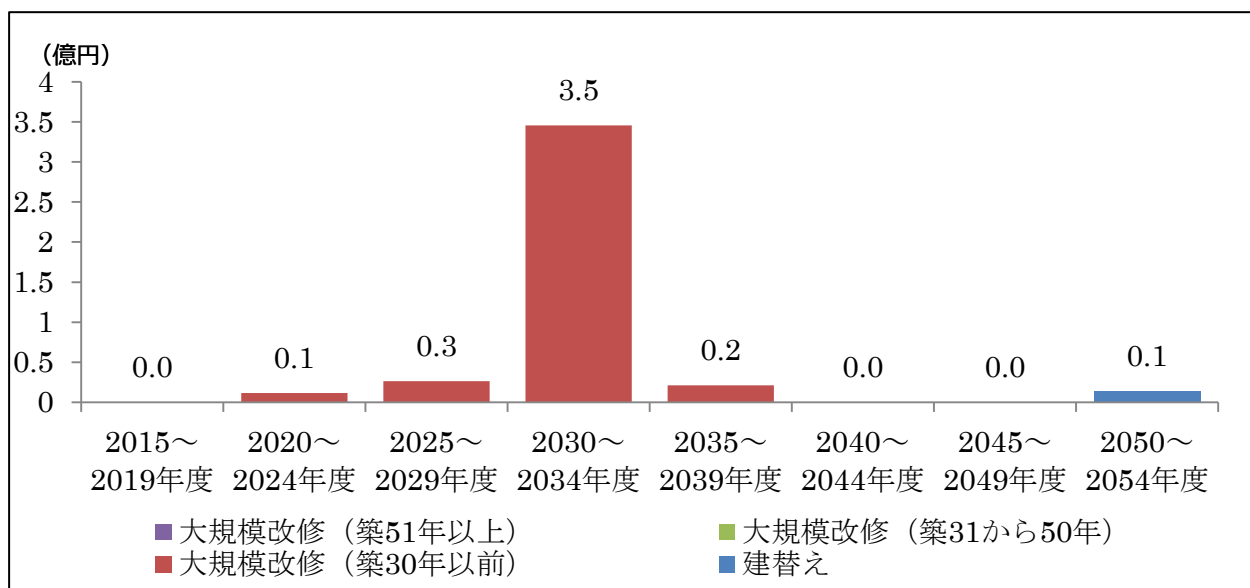
種別	実延長
下水道（農業集落排水含む）	74,888.47m

### ■配置状況（建物）



■将来更新費用（建物）

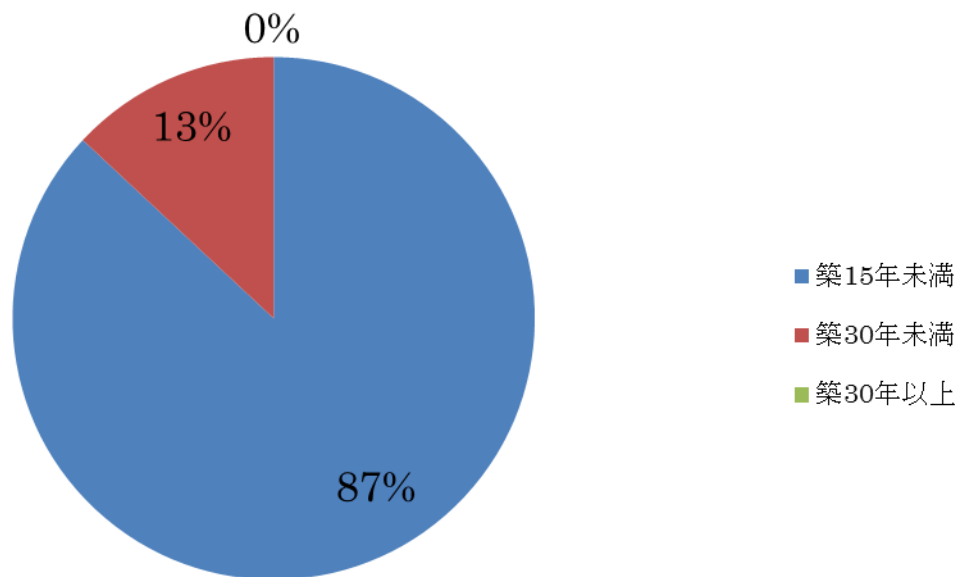
図 下水道施設（建物） 将来更新費用



将来更新費用はに大規模改修が2030年度から2034年度までに約3.5億円必要となる見込みです。

■施設老朽化状況（建物）

下水道施設（建物）の築後年数の割合をみると、建物の約87%が築15年未満です。



## ■現状・課題

現状及び課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民生活における公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与しています。</li> <li>・平成9年から事業着手し普及率34%となっており、早急な対策を要する必要性はありませんが、施設の点検管理が必要です。</li> </ul>
----------	---

## ■管理に関する基本的な方針

下水道施設	
点検・診断等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検のほか、施設の劣化状況により個別の調査・診断等を実施していきます。</li> <li>・町民や利用者及び職員目線で見えた水漏れ、つまり、損傷等の情報がくみ上げられ、早期の修繕に生かせる仕組みの構築を目指します。</li> </ul>
維持管理・修繕・更新等の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化状態に着目して早急な対応が必要な部分から付設替え及び修繕を検討していきます。</li> <li>・今後、加入推進を図っていきます。</li> </ul>
安全確保の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽管を最優先に点検し安定した供給が図れるようにします。</li> </ul>
耐震化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道管の耐震管について検討します。</li> </ul>
長寿命化の実施方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な点検や修繕を行うことにより、長期間施設を利用できるようにします。</li> <li>・今後長寿命化計画を策定します。</li> </ul>
統合及び廃止の推進方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梶山農業集落排水の下水道への編入により梶山農集処理場を廃止し、維持管理コストの軽減を図ります。</li> </ul>